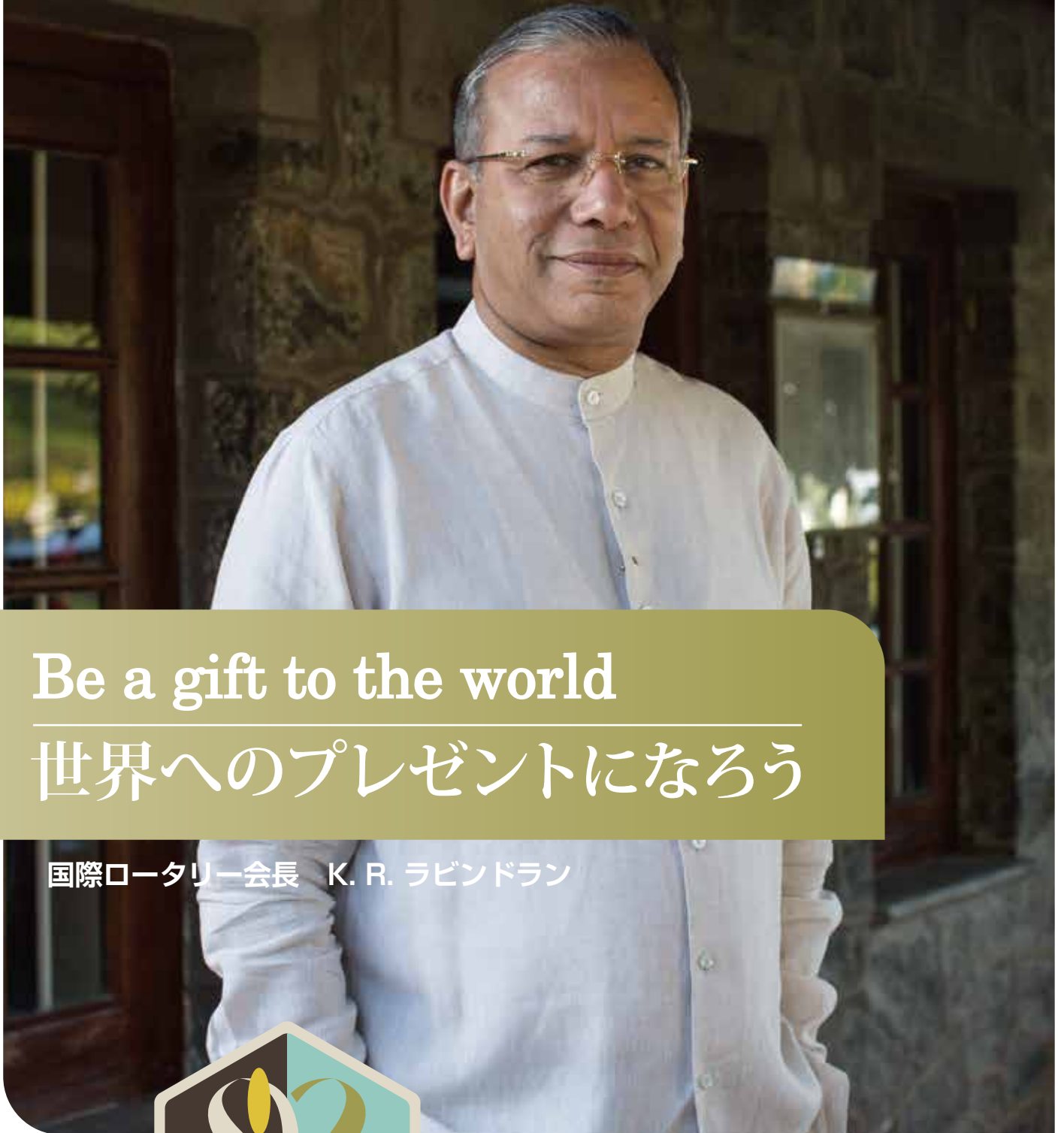


地区活動報告

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840 / 2015-2016



Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン



奉仕●真実●喜び

第2840地区ガバナー 生方 彰



2015-2016 年度 国際ロータリー第 2840 地区

第 2840 地区 ガバナー 生 方 彰

バストガバナー

ガバナー諮問委員会	意義ある業績賞選考委員会
重田 政信 (高 崎 北)	疋田 博之 (桐 生)
高木 貞一郎 (館 林)	本田 博己 (前 橋)
清 章 司 (藤 岡)	竹内 正幸 (太 田)
矢 野 亨 (桐 生 西)	生 方 彰 (沼 田 中 央)
森 田 均 (渋 川)	ガバナー指名委員会
山 崎 學 (高 崎 南)	福 田 一 良 (前 橋 西)
曾 我 隆 一 (前 橋)	安 藤 震 太 郎 (高 崎 北)
横 山 公 一 (沼 田)	疋 田 博 之 (桐 生)
松 倉 紘 洋 (富 岡)	本 田 博 己 (前 橋)
牛 久 保 哲 男 (伊 勢 崎)	竹 内 正 幸 (太 田)
福 田 一 良 (前 橋 西)	規定審議会
安 藤 震 太 郎 (高 崎 北)	代 表 議 員 曾 我 隆 一 (前 橋)
疋 田 博 之 (桐 生)	代 表 補 欠 議 員 横 山 公 一 (沼 田)
本 田 博 己 (前 橋)	会員組織強化カウンセラー
竹 内 正 幸 (太 田)	安 藤 震 太 郎 (高 崎 北)
副 ガ バ ナ ー 竹 内 正 幸	竹 内 正 幸 (太 田)

ガバナー補佐

分 区	氏 名	ロータリークラブ
第 1 分 区	平 田 育 夫 (前 橋 西)	前 橋・前 橋 西・前 橋 東
	担当副幹事 水 石 清 治	前 橋 北・前 橋 南・前 橋 中 央
第 2 分 区 A	船 山 克 人 (桐 生 南)	桐 生・桐 生 南・桐 生 西
	担当副幹事 平 井 克 明	桐 生 中 央・桐 生 赤 城
第 2 分 区 B	下 田 進 (伊 勢 崎 南)	伊 勢 崎・群 馬 境・伊 勢 崎 中 央
	担当副幹事 野 村 治	伊 勢 崎 南・伊 勢 崎 東
第 3 分 区	佐 藤 修 (高 崎 南)	高 崎・高 崎 南・高 崎 北・高 崎 東
	担当副幹事 堤 康 喜 智	高 崎 シン フォ ニー・高 崎 セ ン ト ラ ル
第 4 分 区 A	山 田 邦 夫 (太 田 南)	太 田・太 田 西・太 田 南
	担当副幹事 永 井 寛 之	新 田・太 田 中 央
第 4 分 区 B	関 口 亮 二 (館 林 ミレニアム)	館 林・大 泉・館 林 西
	担当副幹事 宮 田 美 行	館 林 東・館 林 ミレニアム
第 5 分 区	松 野 正 一 (沼 田)	渋 川・沼 田・草 津・中 之 条
	担当副幹事 藤 井 昭 宏	沼 田 中 央・渋 川 み どり
第 6 分 区	堀 口 正 孝 (安 中)	富 岡・藤 岡・安 中・藤 岡 北・富 岡 中 央
	担当副幹事 植 村 仁	碓 氷 安 中・藤 岡 南・富 岡 か ぶ ら

地区幹事

小 野 幸 広 2 年 (沼 田 中 央)
市 村 信 也 3 年 (藤 岡 南)
春 山 和 夫 1 年 (太 田)
地区会計長
赤 井 幸 夫 1 年 (沼 田 中 央)
地区財務委員会
赤 井 幸 夫 2 年 (沼 田 中 央)
仁 井 田 正 弘 3 年 (藤 岡 南)
長 島 章 博 1 年 (太 田)
地区副幹事
野 村 治 (沼 田 中 央)
水 石 清 治 (沼 田)
生 方 眞 司 (沼 田 中 央)
堤 康 喜 智 (沼 田 中 央)
宮 田 美 行 (沼 田 中 央)
永 井 寛 之 (沼 田 中 央)
渡 邊 常 二 (沼 田 中 央)
植 村 仁 (沼 田 中 央)
藤 井 昭 宏 (沼 田 中 央)
平 井 克 明 (沼 田 中 央)

日本国内・各種委員会委員・コーディネーター	
国際ロータリー元理事・(公財)ロータリー日本財団評議員 重田 政信 (高 崎 北)	ロータリーの友委員会顧問 (第1ゾーン) 本 田 博 己 (前 橋)
ロータリーコーディネーター (第1ゾーン) 横 山 公 一 (沼 田)	
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 高 木 貞 一 郎 (館 林)	

地区財団運営会議
議 長 伊 能 富 雄 (伊 勢 崎)
委 員 奉 仕 プロジェクト各委員長

ロータリー財団委員会
委 員 長 伊 能 富 雄 (伊 勢 崎)
ア ド バ イ ザ ー 牛 久 保 哲 男 (伊 勢 崎)

ロータリー財団監査委員会
横 山 公 一 (沼 田)
小 野 幸 広 (沼 田 中 央)
笹 尾 博 樹 (前 橋 東)

地区研修委員会
委 員 長 本 田 博 己 (前 橋)
副 委 員 長 竹 内 正 幸 (太 田)
委 員 豊 川 一 男 (藤 岡 南)
委 員 田 中 久 夫 (高 崎)
委 員 板 垣 忍 (前 橋)
委 員 春 山 和 夫 (太 田)
委 員 保 坂 充 勇 (沼 田)
担 当 副 幹 事 水 石 清 治 (沼 田)
担 当 副 幹 事 堤 康 喜 智 (沼 田 中 央)

資金推進委員会 年次寄付委員会 恒久基金・大口寄付委員会
委 員 長 北 野 浩 司 郎 (沼 田 中 央)
副 委 員 長 町 田 久 (渋 川)
委 員 平 田 育 夫 (前 橋 西)
委 員 船 山 克 人 (桐 生 南)
委 員 下 田 進 (伊 勢 崎 南)
委 員 佐 藤 修 (高 崎 南)
委 員 山 田 邦 夫 (太 田 南)
委 員 関 口 亮 二 (館 林 ミレニアム)
委 員 松 野 正 一 (沼 田)
委 員 堀 口 正 孝 (安 中)

補助金委員会
委 員 長 森 田 高 史 (伊 勢 崎)
地区補助金委員会
委 員 長 下 井 田 秀 一 (桐 生 西)
副 委 員 長 山 田 利 和 (富 岡 か ぶ ら)
委 員 佐 藤 信 一 (前 橋 東)
委 員 村 田 勝 俊 (桐 生)
委 員 原 邦 昭 (群 馬 境)
委 員 室 賀 康 志 (高 崎 北)
委 員 田 部 井 敏 弘 (太 田)
委 員 毛 塚 宏 (館 林)
委 員 石 塚 泉 (館 林 東)
委 員 今 井 幸 吉 (沼 田)
委 員 市 村 信 也 (藤 岡 南)

資金管理委員会
委 員 長 藤 丸 兼 一 (伊 勢 崎)
副 委 員 長 波 澤 誠 (太 田)
委 員 廣 瀬 雅 美 (高 崎)
委 員 (署 名 人) 北 野 浩 司 郎 (沼 田 中 央)
委 員 (署 名 人) 町 田 久 (渋 川)

ポリオプラス委員会
委 員 長 川 口 修 平 (高 崎 南)
副 委 員 長 内 山 均 (前 橋 東)
委 員 三 輪 斉 (前 橋)
委 員 崎 山 謙 治 (高 崎)
委 員 土 屋 孝 夫 (館 林 西)

会員組織強化委員会
委 員 長 安 藤 震 太 郎 (高 崎 北)
副 委 員 長 竹 内 正 幸 (太 田)
委 員 平 田 育 夫 (前 橋 西)
委 員 船 山 克 人 (桐 生 南)
委 員 下 田 進 (伊 勢 崎 南)
委 員 佐 藤 修 (高 崎 南)
委 員 山 田 邦 夫 (太 田 南)
委 員 関 口 亮 二 (館 林 ミレニアム)
委 員 松 野 正 一 (沼 田)
委 員 堀 口 正 孝 (安 中)
担 当 副 幹 事 永 井 寛 之 (沼 田 中 央)

地区副幹事・R 財団委員会担当一覧	
野 村 治	地区財団運営・補助金
	地区補助金・グローバル補助金
水 石 清 治	地区財団運営・補助金
	地区補助金・グローバル補助金
生 方 眞 司	地区財団運営・資金推進
堤 康 喜 智	R 財団委員会・補助金
	地区補助金・グローバル補助金
宮 田 美 行	R 財団委員会・資金推進
永 井 寛 之	ポリオプラス・補助金
	地区補助金・グローバル補助金
渡 邊 常 二	R 財団委員会・資金管理
植 村 仁	ポリオプラス・資金管理
藤 井 昭 宏	R 財団委員会・資金管理
平 井 克 明	ポリオプラス・資金管理

グローバル補助金委員会
委 員 長 大 島 秀 夫 (前 橋 北)
副 委 員 長 津 久 井 功 (沼 田)
委 員 小 磯 正 康 (前 橋 中 央)
委 員 久 保 田 寿 栄 (桐 生)
委 員 新 井 茂 雄 (伊 勢 崎 南)
委 員 金 子 秀 隆 (高 崎 シン フォ ニー)
委 員 落 合 重 男 (太 田)
委 員 宮 内 敦 夫 (館 林)
委 員 清 水 一 男 (渋 川)
委 員 黒 澤 欣 一 (藤 岡)

ロータリーグローバルリワード委員会
委 員 長 竹 内 正 幸 (太 田)

女性ネットワーク委員会
委 員 長 井 上 芙 美 子 (前 橋 中 央)
ア ド バ イ ザ ー 疋 田 博 之 (桐 生)
副 委 員 長 福 島 江 美 子 (太 田)
委 員 望 月 和 子 (前 橋)
委 員 和 佐 田 幸 子 (前 橋 西)
委 員 市 川 孝 江 (桐 生 赤 城)
委 員 関 口 啓 子 (高 崎 南)
委 員 田 原 明 美 (伊 勢 崎 南)
委 員 北 澤 恵 美 子 (太 田 中 央)
委 員 松 本 恵 理 子 (大 泉)
委 員 須 田 羊 子 (沼 田)
委 員 佐 藤 三 千 子 (富 岡)
担 当 副 幹 事 平 井 克 明 (沼 田 中 央)

ガバナーエレクト	
豊川 一男 (藤岡南)	
地区幹事	
市村 信也 (藤岡南)	
地区財務委員	
仁井田 正弘 (藤岡南)	
地区副幹事	
伊藤 好則 (富岡)	
林 直男 (藤岡)	
古賀 直樹 (安中)	
深井 正毅 (藤岡北)	
横尾 寅樹 (富岡中央)	
和田 雅之 (碓氷安中)	
嶋田 佳幸 (富岡かぶら)	
小林 宣行 (藤岡南)	

ガバナーノミニ	
田中 久夫 (高崎)	

地区大会	
ホストクラブ 沼田中央	
コ・ホストクラブ 渋川・沼田	
実行委員長 國府田 坦 (沼田中央)	
副実行委員長 北野 浩司郎 (沼田中央)	
幹事 小林 照夫 (沼田中央)	
担当副幹事 野村 治 (沼田中央)	
担当副幹事 植村 仁 (沼田中央)	

地区大会記念ゴルフ大会	
ホストクラブ 渋川みどり	
コ・ホストクラブ 草津・中之条	
実行委員長 (渋川みどり)	
担当副幹事 永井 寛之 (沼田中央)	

地区研修・協議会	
ホストクラブ 沼田	
実行委員長 保坂 充勇 (沼田)	
幹事 斎藤 正典 (沼田)	
担当副幹事 宮田 美行 (沼田中央)	
担当副幹事 水石 清治 (沼田)	

地区副幹事担当一覧	
野村 治	危機管理委員会・地区大会・ロータリー財団・学生会委員会・第2分区B
水石 清治	地区研修委員会・青少年奉仕連絡会議・米山記念奨学委員会・ロータリー財団・地区研修・協議会・第1分区
生方 眞司	規定審議会立法案検討委員会・ロータリー財団・第6分区
堤 康喜智	総務・地区研修委員会・ロータリー財団・インターアクト・ローターアクト・RYLA 委員会・ローターアクト合同会議・第3分区
宮田 美行	青少年交換委員会・ロータリー財団・地区研修・協議会・第4分区B
永井 寛之	会員組織強化委員会・地区大会記念ゴルフ大会・ロータリー財団・第4分区A
渡邊 常二	管理運営・IT 委員会・月信編集長・ロータリー財団
植村 仁	職業奉仕委員会・地域社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・月信副編集長・地区大会・ロータリー財団・第6分区
藤井 昭宏	地区戦略計画委員会・公共イメージ・ロータリー財団・第5分区
平井 克明	青少年交換委員会・ロータリー財団・女性ネットワーク委員会・月信副編集長・第2分区A

板垣 忍	事務局長 (前橋)
入山 こそ江	事務局員
佐藤 由紀恵	事務局員

地区会計監査人	
笹尾 博樹 (前橋東)	

ロータリーの友地区委員	
代表委員 松島 宏明 (桐生)	
委員 板垣 忍 (前橋)	
委員 春山 和夫 (太田)	

RII 推進委員会	
委員長 本田 博己 (前橋)	
副委員長 伊能 富雄 (伊勢崎)	
委員 小磯 正康 (前橋中央)	
委員 松島 宏明 (桐生)	
委員 田部 井敏弘 (太田)	
委員 川島 理 (渋川みどり)	
委員 山田 利和 (富岡かぶら)	
担当副幹事 水石 清治 (沼田)	
担当副幹事 堤 康喜智 (沼田中央)	

危機管理委員会	
委員長 森田 均 (渋川)	
副委員長 松倉 紘洋 (富岡)	
委員 板垣 忍 (前橋)	
委員 竹澤 泰子 (国際交流協理)	
担当副幹事 野村 治 (沼田中央)	

規定審議会立法案検討委員会	
委員長 曾我 隆一 (前橋)	
副委員長 横山 公一 (沼田)	
委員 各ガバナー補佐	
担当副幹事 生方 眞司 (沼田中央)	

地区戦略計画委員会	
委員長 疋田 博之 (桐生)	
アドバイザー 清 章司 (藤岡)	
副委員長 竹内 正幸 (太田)	
委員 生方 彰 (沼田中央)	
委員 豊川 一男 (藤岡南)	
委員 田中 久夫 (高崎)	
担当副幹事 藤井 昭宏 (沼田中央)	

奉仕プロジェクト

青少年奉仕部門	
青少年奉仕連絡会議	
議長 松倉 紘洋 (富岡)	委員 関 徹也 (伊勢崎)
委員 横山 正男 (高崎ソフォニー)	委員 千吉良 勝美 (伊勢崎中央)
委員 田島 龍一 (安中)	担当副幹事 水石 清治 (沼田)

青少年交換委員会	
委員長 横山 正男 (高崎ソフォニー)	
青少年交換派遣担当	
副委員長 関根 俊夫 (安中)	
委員 原 精一 (館林ミレニアム)	
委員 原 敬 (伊勢崎)	
委員 嶋方 智之 (高崎)	
委員 小田原 茂 (沼田中央)	
委員 小林 京子 (富岡)	
青少年交換受け入れ担当	
副委員長 新井 聡 (前橋西)	
委員 天田 光俊 (群馬境)	
委員 阿久澤 嘉一 (高崎)	
委員 吉野 矩久 (高崎東)	
委員 須永 聡介 (桐生赤城)	
委員 前原 信之 (太田中央)	
担当副幹事 宮田 美行 (沼田中央)	
担当副幹事 平井 克明 (沼田中央)	

インターアクト委員会	
委員長 田島 龍一 (安中)	
委員 桑原 志郎 (桐生)	
委員 福田 信昌 (新田)	
担当副幹事 堤 康喜智 (沼田中央)	
ローターアクト委員会	
委員長 関 徹也 (伊勢崎)	
委員 飯島 千明 (沼田)	
委員 湯浅 年則 (富岡)	
担当副幹事 堤 康喜智 (沼田中央)	
ローターアクト合同会議	
担当副幹事 堤 康喜智 (沼田中央)	
RYLA 委員会	
委員長 千吉良 勝美 (伊勢崎中央)	
委員 樋口 義幸 (沼田中央)	
委員 金井 克智 (高崎)	
担当副幹事 堤 康喜智 (沼田中央)	

職業奉仕委員会	
地域社会奉仕委員会	
国際奉仕委員会	
委員長 保坂 充勇 (沼田)	
副委員長 菊川 善明 (前橋)	
委員 近藤 日出夫 (前橋東)	
委員 田島 正広 (群馬境)	
委員 松本 利宏 (伊勢崎中央)	
委員 岡本 謙一 (高崎)	
委員 阿部 豊子 (館林東)	
委員 佐藤 和夫 (渋川)	
担当副幹事 植村 仁 (沼田中央)	

管理運営・IT 委員会	
委員長 豊川 一男 (藤岡南)	
担当副幹事 渡邊 常二 (沼田中央)	

学生会委員会	
委員長 中 繁基 (館林西)	
担当副幹事 野村 治 (沼田中央)	

公共イメージ委員会 (オンツソウル)	
委員長 永井 勇 (渋川)	
アドバイザー 福田 一良 (前橋西)	
副委員長 酒井 次男 (高崎セントラル)	
委員 新井 照秋 (前橋東)	
委員 岡崎 政夫 (前橋北)	
委員 岩崎 宏行 (前橋南)	
委員 小野 真康 (桐生中央)	
委員 矢嶋 真 (高崎)	
委員 高橋 永一 (高崎東)	
委員 中村 研司 (館林)	
委員 田邊 寛治 (渋川みどり)	
担当副幹事 藤井 昭宏 (沼田中央)	

米山記念奨学委員会	
委員長 田中 久夫 (高崎)	
アドバイザー 高木 真一郎 (館林)	
委員 小林 要一 (前橋)	
委員 大友 一之 (桐生)	
委員 神宮 嘉一 (高崎)	
委員 板橋 一博 (太田)	
委員 長坂 正信 (太田西)	
委員 瀬山 欣春 (館林)	
委員 高橋 昭紀 (沼田中央)	
委員 齋藤 勝也 (富岡かぶら)	
担当副幹事 水石 清治 (沼田)	

奉仕●真実●喜び

2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

2015-16 年度のガバナー補佐、地区役員、会長・幹事の皆様をはじめ地区内全ロータリアンの皆様へ

6月末をもちまして、私たちの年度が終了いたしました。振り返れば、2014年11月1日の第一回ガバナー補佐会議を皮切りに、ガバナー任務が始まり、以後、地区内全ロータリアンの皆様に並々ならぬ御支援、御協力を賜りつつ無事にガバナー任務と事務所の運営を終えることができました。もとより浅学非才なる身であり汗顔の至りではありましたが、ひとえに皆様の暖かい御心に支えられ何とかこの重責を全うすることができました。この間の御支援御協力に對しまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、ガバナーとしてのエピローグを迎えるに当たり、以下にこの一年を振り返りつつ所感を述べ、御礼の意味を含めた報告に代えさせていただきたいと思っております。

1 ガバナーになって、さらに強く感じたこと

(1) ロータリアンは偉大なり

この一年ロータリーの中核で働く榮譽に浴す中、「日本のロータリアンは世界屈指の存在であり、大変に優秀な方々である」と率直に感じております。中でも、2840地区の皆様が一丸となって「3ヶ年地区戦略計画」の達成という顕著な実績を残されたことがあげられます。これは、地区の皆様方の実践力と篤い思いなくして成し遂げられなかった事柄であろうと、深く感謝しつつ改めて感慨を深くしているところであります。これらの成果に對しまして、2840地区のロータリアンと共に、胸に輝くバッジに特別な誇りを持ちたいと思っているところです。(別紙データ参照)

- ①ロータリアンは「四つのテスト」、「奉仕の理想」をベースに宗教や政治に大きく偏らず、品行方正であり、慈愛の心を持って、世界平和に貢献する人々であると、あらためて感じました。
- ②人類の為という崇高な理念の下に集い、一層素晴らしいロータリアンのメンバーを増強する活動を通して「世界へのプレゼントになろう」の具現化を実感できました。
- ③昨年度は関東、東北豪雨災害が発生し、同時に3地区が災害に遭われました。3地区と言うことでその対応にはガバナー会の議長方針を待ちましたが「各地区で対応する」という結論になり、時間が経過してしまいました。クラブにより友好クラブ等があり、先行寄付を行ったクラブもありました。その上で、一人1,500円位を御寄付頂けたらとお願い致しましたところ、依頼通りの金額を寄付して戴きました。その後、熊本地震が起き、甚大な被害が発生しました。この時は地区の災害積立金200万円をすぐに2720地区(熊本・大分)にお送り致しました。一人1,000円位で2,000名ですと200万円の御寄附を予定しましたが、270万円以上の御寄付を頂き、差額を再度送金いたしました。ご案内の通り、震災前の熊本地方は、ミニバブルと言われるくらい景気が良かったのですが、大震災の後は一転して惨憺たる状況になってしまいました。この時、私の同期ガバナーである野田三郎様(2720地区)の会社は熊本城の近くにあり、大きな被害を受けてしまいました。しかし、野田三郎様は、先ず、第一に2720地区全体の事を心配され、対策を次々と打ち出し復興に向けての力を結集させるため、先頭に立たれました。さらに、野田三郎様は熊本県中小企業団体中央会の会長等熊本県の各種団体の要職にも在り活躍しておられました。被災された各種組合員の思いを県や国に要請・陳情する活動に精魂を傾け、プライベートな時間も殆んど確保されずにおられたと思います。恐らく枕を高くして寝られる時間は皆無だったのではないのでしょうか。そして、6月下旬に体調を崩され入院、急性で悪性の病気で7月上旬についに帰らぬ人となってしまいました。この様に世の為人の為に、自分のことはさておき、全身全霊を傾けて人助けをするということは究極のロータリアンの姿ではないのでしょうか。誠に残念です。生きて親しく益々御指導を賜りたいという願いもむなしく、惜しまれつつあまりに早く、若くして逝去されました。在りし日の野田三郎様に心からの尊敬と感謝念を捧げるとともに衷心より御冥福をお祈りいたします。

奉仕●真実●喜び

2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

(2) ロータリーは偉大なり

私がロータリークラブに入会したころ、ポールハリスの「ロータリアンは寛容の心が必要だ」という考え方が主流でした。それから時は流れ、ロータリーは「寛容」を超越し、「多様性」というキーワードを共通理解の集約点として発展し、現在に至っております。多様性とは、人や物事を自分のスケールで測らず世界理解、異文化理解を進め、法律違反やルール違反、又は信頼を損なう言動、以外はすべて認めることを意味します。ロータリーの原点を見つめ、進化の過程に思いを馳せるとき、その思想の偉大さに感銘を受けます。中核的価値観はこの他にもう4つありますので、「5つの中核的価値観」を紐解き自分の味付けで料理をしてみたいと思います。

ところで、各クラブはアメリカにあるロータリーの本部と直結しております。アメリカと申しますと情報、産業、科学、医学、心理、宇宙等の最先端技術と情報において世界の中心的存在であります。このことはノーベル賞受賞者を多数輩出しておられることで証明されています。言い換えれば、ロータリアンは常に世界の真只中にあり、その気になればロータリーを深く知ることにより世界の真髄を学ぶことができるのです。ロータリーは教えるところではありません。自ら学ぶところあります。そして、知れば知る程ロータリーの偉大さがわかると思います。「奉仕・真実・喜びの世界」を目指し、ロータリアン自身が「世界のプレゼントとなる」ことができるよう、ロータリーをもっともっと深く理解し、お互いの人間性の向上に向けて活用して参りましょう。

2 規定審議会開催

2016年4月、3年に一度の規定審議会が開催されました。RID2840 代表議員 曾我隆一パストガバナーにはRI本部まで訪米して頂き、連続5日間の審議会に御参加いただき、慎重審議を賜り誠にありがとうございました。この結果、「クラブ運営と会員身分について、大幅に柔軟性を取り入れても構わない」という結論を得ました。この様にロータリーにとっては、変革過渡期でもあるようです。

3 ガバナー事務所運営基本3項目設定

私たちがガバナー事務所を運営するにあたり、次の3項目の柱を掲げました。

- (1) 円滑なる地区の運営
- (2) RIテーマと地区スローガンの周知徹底
- (3) 3ヶ年地区戦略計画の目標達成

上記(1)は地区幹事をはじめガバナースタッフ、地区委員会、地区事務局員が力併せて取り組みました。ガバナースタッフ会議は30回を超えて行われるなど地道な努力を重ね、ほぼ順調に遂行できたと思います。

(2)のRIテーマは「世界へのプレゼントになろう」でした。K.R. ラビンドラン会長から「結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです」といったお言葉をはじめとして、多くの事柄を御教示頂きました。このことについては、月信や諸セミナー等を通して周知させていただきました。地区スローガンでは、「奉仕・真実・喜び」に於いて「奉仕とは喜んでいただくことをすることである」と分かりやすく解説いたしました。

奉仕●真実●喜び

2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

(3)の「3ヶ年地区戦略計画の目標達成」については次の【A】～【E】に示すとおり、概ね達成することができました。(詳細は担当委員長から報告が別紙にございます)

【A】

- ①会員増強 地区全体で 2,000 名台の会員数に回復させる。年度末会員数 2,058 名となりました。
- ②未来の夢計画 地区内全クラブが地区補助金対象事業を申請する。過去最大の 43 クラブから申請がありました。毎年 3 クラブ以上がグローバル補助金を申請する。3 件の申請がありました。当地区初のグローバル補助金による財団奨学生の申請がありました。
- ③寄付目標 財団年次寄付・ポリオプラス寄付目標を大きく上回(数値目標)ることができました。その他、恒久基金も多額を戴き、多額の寄付金を通して、世界へのプレゼントになりました。(メジャードナーに 11 名の方がなってくださいました。レベル 1 の方が 6 名、レベル 2 の方が 4 名、レベル 3 の方が 1 名)。地区内全クラブが財団寄付をしてくださりました。米山記念奨学会への寄付も目標額を大きく上回りました。
- ④ロータリー研修 地区およびクラブはロータリー研修の強化・充実を推進する。クラブは R L I に積極的に参加致しました。多くの研修会を開催し、ロータリーを学んで頂きました。
- ⑤公共イメージ クラブの地域に対する発信を活発化し、クラブの存在価値を高める奉仕プロジェクトを積極的に開発・推進する。43 クラブによる地区補助金の奉仕プログラム申請と初の上毛新聞全カラー使用の対談集を 2 月 23 日に掲載し、地区内の公共イメージアップに貢献できました。一番近い外国、韓国のソウル国際大会には 106 名の登録を頂きました。ソウルにて行いました地区ナイトには約 90 名の参加を戴き、異国の地にてロータリー理解と親睦を深めることができました。また、本年度の月信は素晴らしいデザインと斬新なレイアウトで表紙の写真も綺麗で、公共イメージアップに貢献できました。
- ⑥青少年奉仕 青少年奉仕部門の R I 常設プログラムを充実させると共に、「子供の未来を育む」活動を推進する。積極的に推進いたしました。特記すべきは青少年交換学生の 5 対 5 交換と夏季交換の全学生が無事に終了できたことです。
- ⑦奉仕の理念 ロータリーの目的である「奉仕の理念の奨励・育成」をロータリアンとして、またクラブとして実践して頂きました。

【B】ロータリー誕生 111 年並びに 2840 地区 15 周年の節目の年になります。この期を記念して、長期間に亘りロータリー活動に御尽力頂きました諸先輩に感謝と敬意を表し、表彰させていただきます。豊川年度の地区大会時に表彰式を行う予定です。(ロータリー在籍期間順で地区内、約 200 名弱の方が対象)。

【C】IM を開催し、更なる親睦をはかり、ロータリーの未来を語り合ひましょう。IM は地区からのテーマあるいはガバナー補佐の希望テーマを掲げて、ガバナー補佐の方々に主催して頂き、大変有意な意見交換と親睦がはかれました。

【D】ロータリーの原点と進化を学びましょう。このことは私が公式訪問で説明させて頂きました。時代が如何様に変化しようとも変わってはならない基本的な価値観すなわち「不易」と、時代の変遷に応じ時代の要請を受け、新しい考え方を取り入れてしなやかに変化して行くべき施策、即ち「流行」を見極めていくことがこれからのロータリアンにとって大切な事柄であろうと思います。

【E】R L I 推進委員会を新設し、R L I の拡充を図りました。

奉仕●真実●喜び

2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

終わりに

ロータリークラブでの私の友人は所属クラブ会員がほとんどでしたが、この2年間に地区内外に多数の親友ができました。この事は、何物にも代え難い財産です。そして、貴重な友人を通して、ロータリーのことは当然ですが、多くの社会勉強をさせていただき、人生の何たるかを学ぶことが出来ました。

当然のことではありますが私を含め、地区幹事、地区副幹事、会計長の皆様は初めての体験・任務でありました。お互いに最初は緊張してピリピリとしていましたが、無我夢中で走り続け、ようやく全体像を掴み、ロータリーのアウトラインが把握できた今日終わりを迎えることと相成りました。

皆様のお陰をもちまして、今は達成感と充実感で満たされております。クラブ会長・幹事の皆様、地区役員の皆様、特にガバナー補佐の皆様、委員長の皆様、そして柳信男会長、國府田坦地区大会実行委員長をはじめ沼田中央ロータリークラブの皆様、お陰様で何とかガバナーを務め上げることができました。重ねて感謝申し上げます。

さらに、人生にロータリーの1ページを共に刻んだ、小野幸広幹事はじめ副幹事の皆様、赤井幸夫会計長、ガバナー事務所の板垣事務局長、入山様、佐藤様大変お世話になりました。私にとってこの一年は何物にも代え難い貴重な時間でありました。皆様と共にスクラムを組んで前進してきた輝かしい日々を誇りとして深く胸に刻み、大切にしつつ、ロータリーにて学ばせていただいたことを糧として、今後も「奉仕・真実・喜び」へ向けて邁進する所存であります。私の座右の銘は“かんじん寛仁たいど大度”（寛大で情け深く、度量の大きいこと）です。

ロータリーに長く在籍することでこの言葉の意味に確信を持ちました。今後も寛仁大度をもって人生を歩んで参りますことをここに約束し、末筆ながら、皆様方の御健勝と益々の御発展をお祈りしつつペンを置かせていただきます。

2840地区、全会員の皆様 本当にありがとうございました。

地区役員名簿

2015-2016 年度
国際ロータリー第 2840 地区



RI 元理事
ガバナー諮問委員
重田 政信 (高崎北)
TEL : 027-362-5811 FAX : 027-363-4338



ガバナー
生方 彰 (沼田中央)
TEL : 0278-22-5555 FAX : 0278-24-1620



米山記念奨学会理事 ガバナー諮問委員
米山記念奨学委員会アドバイザー
高木 貞一郎 (館林)
TEL : 0276-72-3218 FAX : 0276-75-3218



ガバナー諮問委員
地区戦略計画委員会アドバイザー
清 章 司 (藤岡)
TEL : 0274-22-3981 FAX : 0274-22-8841



ガバナー諮問委員
矢野 亨 (桐生西)
TEL : 0277-73-2605 FAX : 0277-73-6462




ガバナー諮問委員 危機管理委員長
森田 均 (渋川)
TEL : 027-224-8860 FAX : 027-224-8134



ガバナー諮問委員
山崎 學 (高崎南)
TEL : 027-347-1177 FAX : 027-347-2850




ガバナー諮問委員
規定審議会立法案検討委員長
曾我 隆一 (前橋)
TEL : 027-265-2321 FAX : 027-265-2328



ロータリーコーディネーター(第1ゾーン)
ガバナー諮問委員 規定審議会立法案検討副委員長
ロータリー財団監査委員
横山 公一 (沼田)
TEL : 0278-22-0387 FAX : 0278-22-7464



ガバナー諮問委員 危機管理副委員長
青少年奉仕連絡会議議長
松倉 紘洋 (富岡)
TEL : 0274-63-7284 FAX : 0274-62-0972



ガバナー諮問委員
ロータリー財団委員会アドバイザー
牛久保 哲男 (伊勢崎)
TEL : 0270-26-4411 FAX : 0270-26-4499



ガバナー諮問委員 ガバナー指名委員長
福田 一良 (前橋西)
TEL : 027-221-6868 FAX : 027-221-7444




ガバナー諮問委員 ガバナー指名委員
会員組織強化カウンセラー 会員組織強化委員長
安藤 震太郎 (高崎北)
TEL : 027-364-7110 FAX : 027-364-7130



ガバナー諮問委員 意義ある業績賞選考委員
ガバナー指名委員 地区戦略計画委員長
女性ネットワーク委員会アドバイザー
足田 博之 (桐生)
TEL : 0277-44-3040 FAX : 0277-44-4560



ガバナー諮問委員 意義ある業績賞選考委員
ガバナー指名委員 地区研修委員長 RLI 推進委員長
本田 博己 (前橋)
TEL : 027-251-8960 FAX : 027-253-8960



直前ガバナー 副ガバナー ガバナー諮問委員
意義ある業績賞選考委員 ガバナー指名委員
地区研修副委員長 地区戦略計画副委員長
竹内 正幸 (太田)
TEL : 0276-45-1408 FAX : 0276-48-5595



ガバナーエレクト・地区研修委員
地区戦略計画委員 管理運営・IT委員長
豊川 一男 (藤岡南)
TEL : 0495-73-4260 FAX : 0495-73-4321



ガバナーノミニー 地区研修委員
地区戦略計画委員 米山記念奨学委員長
田中 久夫 (高崎)
TEL : 027-344-7527 FAX : 027-364-3501

地区役員名簿

2015-2016 年度
国際ロータリー第 2840 地区



第 1 分区 ガバナー補佐
平田 育夫 (前橋西)
TEL : 027-283-1620 FAX : 027-283-1628



第 2 分区A ガバナー補佐
船山 克人 (桐生南)
TEL : 0277-44-0640 FAX : 0277-44-0641



第 2 分区B ガバナー補佐
下田 進 (伊勢崎南)
TEL : 0270-23-1431 FAX : 0270-23-2294



第 3 分区 ガバナー補佐
佐藤 修 (高崎南)
TEL : 027-322-3943 FAX : 027-325-5675



第 4 分区A ガバナー補佐
山田 邦夫 (太田南)
TEL : 0276-31-7818 FAX : 0276-31-1159



第 4 分区B ガバナー補佐
関口 亮二 (館林ミレニアム)
TEL : 0276-74-5351 FAX : 0276-74-5351



第 5 分区 ガバナー補佐
松野 正一 (沼田)
TEL : 0278-24-1558 FAX : 0278-24-0358



第 6 分区 ガバナー補佐
堀口 正孝 (安中)
TEL : 027-381-4048 FAX : 027-381-4048



地区幹事 (2年)
小野 幸広 (沼田中央)
TEL : 0278-22-3453 FAX : 0278-22-7611



地区幹事 (3年)
市村 信也 (藤岡南)
TEL : 027-226-6821 FAX : 027-226-6825



地区幹事 (1年)
春山 和夫 (太田)
TEL : 0276-45-9081 FAX : 0276-46-9629



地区会計長 (2年)
赤井 幸夫 (沼田中央)
TEL : 0278-25-4188 FAX : 0278-25-4189



地区財務委員 (3年)
仁井田 正弘 (藤岡南)
TEL : 0274-22-6963 FAX : 0274-22-6857



地区財務委員 (1年)
長島 章博 (太田)
TEL : 0276-22-3102 FAX : 0276-22-3105

地区役員名簿

2015-2016 年度
国際ロータリー第 2840 地区



ロータリーの友地区代表委員
松島 宏明 (桐生)
TEL : 0277-55-0207 FAX : 0277-55-0209



ロータリー財団委員長
伊能 富雄 (伊勢崎)
TEL : 027-235-4555 FAX : 027-235-3939



資金推進、年次寄付、恒久基金
大口寄付委員長
北野 浩司郎 (沼田中央)
TEL : 0278-24-3311 FAX : 0278-24-3312



補助金委員長
森田 高史 (伊勢崎)
TEL : 0270-25-1441 FAX : 0270-24-8237



地区補助金委員長
下井田 秀一 (桐生西)
TEL : 0277-72-2359 FAX : 0277-73-3480



グローバル補助金委員長
大島 秀夫 (前橋北)
TEL : 027-243-3111 FAX : 027-233-2288



資金管理委員長
藤丸 兼一 (伊勢崎)
TEL : 0270-24-3401 FAX : 0270-24-3408



ポリオプラス委員長
川口 修平 (高崎南)
TEL : 027-362-5233 FAX : 027-362-0081



女性ネットワーク委員長
井上 美美子 (前橋中央)
TEL : 027-221-6006 FAX : 027-221-6017



公共イメージ (オンツォ・ソウル) 委員長
永井 勇 (渋川)
TEL : 0279-30-3389 FAX : 0279-24-1928



青少年交換委員長
横山 正男 (高崎シンフォニー)
TEL : 027-395-8839 FAX : 027-341-7684



インターアクト委員長
田島 龍一 (安中)
TEL : 027-380-5539 FAX : 027-382-6433



ローターアクト委員長
関 徹也 (伊勢崎)
TEL : 0270-75-4126 FAX : 0270-30-1526



RYLA委員長
千吉良 勝美 (伊勢崎中央)
TEL : 0270-24-5768 FAX : 0270-24-5762



職業・地域社会・国際奉仕委員長
保坂 充勇 (沼田)
TEL : 0278-24-1871 FAX : 0278-23-1335



学友委員長
中 繁 基 (館林西)
TEL : 0276-88-0027 FAX : 0276-88-6440

年間活動報告書

第1分区 ガバナー補佐 平田 育夫（前橋西）

クラブ訪問履歴

RC	表敬訪問	公式前訪問	公式訪問	IM	お礼訪問
前橋	7・7	10・20	11・17	2・20	6・14
前橋西	7・10	11・13	11・27	2・20	6・17
前橋東	7・9	11・5	11・19	2・20	6・16
前橋北	7・6	11・9	11・30	2・20	6・13
前橋南	7・8	10・28	11・25	2・20	6・15
前橋中央	7・15	11・4	12・9	2・20	6・22

分区会長・幹事会履歴

日時	議題・連絡事項等
7・15	現況報告書提出依頼・公式訪問日連絡（中央RC変更調整）等
9・8	予備クラブ協議会日程調整・IM開催について・国際大会参加要請・地区大会参加要請・グローバル補助金の分区でのエントリーについて・地区大会「クラブ紹介用ワンフレーズ」等
11・4	公式訪問の最終確認・学友会名簿提出依頼・IMの協力要請等
1・15	会員増強依頼・国際大会参加要請・分区合同新年会について等
3・16	会員増強の進捗状況確認と推進依頼・IM参加のお礼
5・26	新年度への引き継ぎ・今年度会長・幹事はその経験を次年度へ役立てて更なる自クラブの活性化に協力を

- *会長・幹事会（隔月開催）を有効利用し地区情報等を伝達できた。
- *地区への要望や意見を多く聞きたかった（訪問回数を増やせばよかったか）
- *年度初めに掲げた数値目標が達成できないクラブがある。
- *前橋RC・・・百名を超える大所帯クラブを会長・幹事は見事に纏めていた
- *前橋西RC・・・新しいIMの在り方を提案し実行できた。（地域との関係）
- *前橋東RC・・・社会奉仕活動を良く理解され、その活動は立派である。
- *前橋北RC・・・若い会員が多く、会員増強も純増4名と着実に推移している
- *前橋南RC・・・会員は少ないが皆仲が良く高出席率を維持している。
- *前橋中央RC・・・純増5名と順調に会員増強されクラブの意識を感じる。

年間活動報告書

第2分区 A ガバナー補佐 船山 克人（桐生南）

前年度桐生地区5RCの構成で選出されましたガバナー補佐の船山です。当初は当クラブの会員である薊氏にガバナー補佐は決まっておりましたが、薊氏の体調不良から前当クラブの会長である私が代行することになりました。私は、平成18年3月18日に入会し、まだロータリー歴10年足らずでありまして不安は、十分ありましたが選出されたからには迷惑はかけられないと思って（前年度ガバナー補佐の竹内様）にご指導いただきながら新年度がスタートいたしました。

昨年度各クラブの業績・15項目の目標設定の状況・My Rotaryの登録状況

桐生ロータリークラブ

昨年度各クラブの業績	未来・夢計画によるキノピー政策及び桐生市へPR
15項目の目標設定の状況	2項目
My Rotaryの登録状況	実施中

桐生南ロータリークラブ

昨年度各クラブの業績	東北被災地に夢計画において絵手紙・うちわ・ベンチを寄贈した。
15項目の目標設定の状況	2項目
My Rotaryの登録状況	実施中

桐生西ロータリークラブ

昨年度各クラブの業績	15名の新会員入会 グローバル補助金の取組
15項目の目標設定の状況	14項目
My Rotaryの登録状況	約5%

桐生赤城ロータリークラブ

昨年度各クラブの業績	女性会員7名 青少年交換長期派遣スポンサークラブ
15項目の目標設定の状況	検討中
My Rotaryの登録状況	実施中

桐生中央ロータリークラブ

昨年度各クラブの業績	R財団：地区表彰連続6年
15項目の目標設定の状況	検討中
My Rotaryの登録状況	検討中

上記の通り各クラブの業績・15項目の達成状況・登録状況を報告させていただきます。

最後に前年度に於きましては、生方ガバナーをはじめ地区役員・ガバナー補佐の皆様には大変お世話になりました。ご指導いただきまして誠にありがとうございました。

年間活動報告書

第2分区 B ガバナー補佐 下田 進 (伊勢崎南)

平成26年11月1日に第一回目のガバナー補佐会議が開かれ、7名の同期補佐と共に、補佐の役割と責務、7項目の地区目標の説明を受け、更に次年度もIMの実施と各クラブ訪問を要請されました。

第一回目の訪問は7月初旬でした。これは各クラブへのご挨拶であり、併せて、RI会長テーマと生方ガバナーの地区運営方針・数値的目標等の説明をさせて頂きました。

第二回目の訪問は概ね9月であり、ガバナー訪問の事前訪問として、3月のPETS・SETS時の効果的なRCとなる為の活動計画の指針の指摘事項と、現況報告書との矛盾点等についてを各クラブ共に協議をさせて頂きました。

第三回目訪問は10月上旬から11月上旬のガバナー訪問への同行。生方ガバナーの講話とクラブ協議会の実施。

第四回目訪問は28年2月で各クラブへIM開催の案内を、矢内実行委員長同道で行いました。

第五回目：28年3月27日、生方ガバナーの出席を得てIMの開催。詳細はガバナー月信28年5月号を参照して下さい。

第六回目：28年5月17日、生方ガバナーのご出席を得て5RC合同例会が開催され出席。当日、ガバナー事務所より配布された、各クラブの数値目標達成に向けての最後のお願いと一年間にわたるご協力への御礼を申し上げる。

上記以外に分区内各クラブからの要請により下記の出席をおこないました。

- ①群馬境RCの、地域のプレゼントになろうに則った一般開放のジャズコンサート(無料)への出席。27.07.09・27.12.12・28.01.28の3回
- ②伊勢崎東RCと比律賓RCとの姉妹提携調印式立会。生方ガバナーに同道。
- ③27年12月22日の伊勢崎RCクリスマス例会への出席。
- ④5クラブ会長・幹事会への出席。

結びに、

平成27年5月17日、地区研修・協議会の日に古希を迎え、そんな歳に第二分区Bの補佐を務める事となりました。森田年度に地区最後の新世代奉仕委員長を務めさせて頂き、以後11年、専ら自クラブライフを楽しんで参りました。浦島太郎の様な私に何が出来るのだろう、改めてロータリーの進化に驚きました。何とか退任を迎えられましたのも偏にお力を貸して下さいました諸姉諸兄のお陰と厚く感謝申し上げます。有難う御座いました。

年間活動報告書

第3分区ガバナー補佐 佐藤 修（高崎南）

クラブ訪問

クラブ訪問は、高崎RC、高崎南RC、高崎北RC、高崎東RC、高崎シンフォニーRC、高崎セントラルRCの6クラブを2015年3回、2016年1回の4回実施しました。

会員増強

高崎RCは昨年51名の増強があり反動が懸念されたが5月末現在、出入りはあったが会員数を維持している。

高崎南RCは4名増強したが2名の会員の逝去があり、2名増となっている。

高崎北RCは3名増強、しかし女性会員は0でした。

高崎東RCは1名増強。

高崎シンフォニーRCは3名増強。

高崎セントラルRCは年度途中で2名減となったが4月に2名増で現状維持。

6クラブで9名増、内女性会員4名。

新会員研修

各クラブからの要請があり、第三分区6クラブ合同新会員研修会を3月12日（土）に高崎東RCがホストとなりニューサンピアで実施しました。参加55名内、入会3年未満の会員が34名ありました。ロータリーの目的、歴史、組織運営について説明があり、2部では懇親を深め、参加した会員からロータリーに入会しての感想と抱負を語ってもらい、クラブを超えた交流が出来た。

IMの実施

5月7日（土）高崎南RCのホストでメトロポリタンホテルで開催した。生方ガバナー、小野地区幹事も参加され104名の参加があった。各クラブの会員からテーマにそった意見発表があり、その後、6クラブ会長による「ロータリーの現状と未来」をテーマにパネルディスカッションを実施した。幹事から会長への一言もあり、次年度へのアドバイスも行われた。

クラブの奉仕活動

高崎南RCがカンボジアでの井戸掘りを再開した。

高崎北RCが市内の障害児施設の児童のコンサートを実施。

高崎東RCが駅周辺の防犯パトロールを実施。

高崎シンフォニーRCが観音山丘陵に遊具を設置。

高崎セントラルRCが知的障害者福祉施設での交流事業の実施。

その他、IAやRAとの合同事業や募金活動など多くの奉仕活動を実施。

「奉仕・真実・喜び」の実践

各事業を通して地区スローガン「奉仕・真実・喜び」を実践した。

年間活動報告書

第4分区 A ガバナー補佐 山田 邦夫 (太田南)

2015年6月2日会長幹事会議を開催し次年度の分区内行事予定を決定し、1年間をスタートさせました。その後5RCの会長幹事が持ち回りで会長幹事会を開き、その都度問題点等を協議し、親睦を図りました。5RC合同事業として太田市社会福祉協議会へタオルの寄贈を行った。

太田 RC 一年間の活動概要

* 地区補助金贈呈式いわき市平地区津波被災者支援事業としてタオルセット寄贈。

* 福島チャイルドハウスふくまる視察。ネパールの児童・生徒に学用品寄贈。

数値目標実績 会員増強：2015.7.1 72名⇒2016.6.30 71名

ロータリー財団への寄与\$199.51 ポリオプラス\$31.32 米山記念奨学会への寄与31,068円

太田西 RC 一年間の活動概要

* 地区目標の達成。

* 親睦、仲間意識を高めると同時に公共イメージアップイベント実施。

数値目標実績 会員増強：2015.7.1 18名⇒2016.6.30 17名

ロータリー財団への寄与\$149 ポリオプラス\$24 米山記念奨学会への寄与14,705円

太田南 RC 一年間の活動概要

* 2016.3.12 第4分区 A・B 合同 IM を開催。

* 地元企業富士重工業(株) 矢島工場を職場訪問実施。

数値目標実績 会員増強：2015.7.1 43名⇒2016.6.30 43名

ロータリー財団への寄与\$92 ポリオプラス\$22 米山記念奨学会への寄与14,341円

新田 RC 一年間の活動概要

* 姉妹クラブ福井南 RC との合同親睦例会実施。

* 地区補助金事業『農作業を通じて地域社会とのふれあい活動』実施。

数値目標実績 会員増強：2015.7.1 16名⇒2016.6.30 17名

ロータリー財団への寄与\$123.5 ポリオプラス\$16.5 米山記念奨学会への寄与18,000円

太田中央 RC 一年間の活動概要

* 「ロータリーを知り 行動する RC へ」をテーマに運営を行い会員増強も行った。

* 未来の夢計画業=小学生バレーボール大会実施。

数値目標実績 会員増強：2015.7.1 48名⇒2016.6.30 54名

ロータリー財団への寄与\$169.58 ポリオプラス\$25.17 米山記念奨学会への寄与18,448円

年間活動報告書

第4分区 B ガバナー補佐 関口 亮二（館林ミレニアム）

ガバナー補佐会議、PETSを経て、平成27年6月3日、太田グリーンパレスにおいて2015-2016年度会長、幹事合同会議を開催し、ガバナー公式訪問計画、分区内行事予定他を決定させていただきました。その際、生方ガバナーの基本的方針、特に本年度が当地区の3か年地区戦略計画の仕上げの年である事を踏まえ、会員増強をはじめとする地区目標の達成の重要性をご説明し、ご協力をお願いしたところ、各クラブから力強いご了解を頂くことができました。結果として本年度、各クラブ多少の差はあるものの、分区として、ほぼ目標を達成できたものと思います。各クラブの皆様にご心から感謝申し上げます。

○ 館林ロータリークラブ

歴史と伝統を誇り、例年着実な活動を行うクラブですが、本年度は特筆すべき出来事がありました。2名の退会者と4名の入会者があり、純増2名となりますが、入会者の内2名が女性であり、創立以来初めての女性会員が誕生しました。また、2018-2019年度のカバナー選出について、会員各位のご努力により宮内敦夫会員が決定いたしました。交換留学生についても1名の派遣と受け入れを行い、モンゴルからの米山奨学生のホストクラブ、国蝶オオムラサキの保護育成団体への協力など充実したロータリー活動を行うことができました。

○ 大泉ロータリークラブ

5クラブ合同例会、10クラブ親睦ゴルフ大会ホストクラブとして、分区行事に貢献していただき、さらに、インドネシアから米山奨学生を受け入れるなど、地区への協力も積極的に行っていただきました。また、近隣中学校のサッカー大会を主催するなどして、地域との結びつきも強く、ロータリークラブの公共イメージアップに多大な寄与をされています。本年度は1名の会員純増でしたが、次年度に創立50周年を控え、さらなる飛躍が期待されます。

○ 館林西ロータリークラブ

館林西ロータリークラブは本年度35周年を迎え、記念例会が盛大に開催されました。記念事業として地元邑楽町に野外温度計を贈呈し、猛暑対策として、地域住民の方たちの健康管理に多大な貢献をされました。おうら祭りにも中心的団体として積極的に参加をし、2840地区への様々な協力のみならず、地域においても重要な役割を担っております。そして、千代山会長エレクトのご逝去という悲しい出来事の中、1名の会員純増という目標を達成されたことに対し、敬意を表したいと思います。

○ 館林東ロータリークラブ

市内小中学校及び図書館児童図書コーナーへの継続した図書購入資金贈呈や、明和ボーイスカウト、館林女子高マンドリンククラブへの支援など、青少年に対する奉仕は特筆に値します。また、高田東ロータリークラブ、足利わたらせロータリークラブなど友好クラブとの交流は、その頻度、内容とも充実したものであり、他クラブの模範となるのではと考えます。会員数も純増2名を達成し、分区目標に貢献していただきました。

○ 館林ミレニアムロータリークラブ

規模としては小規模なものの、非常にまとまりが良いクラブです。例会が楽しいという会員が多く、そのことは、2840地区内においてトップクラスの例会出席率からも推察されます。また、転勤のある3名の工場長が、それぞれSAを担当されるなど、各会員がクラブ運営に積極的に関与し、主体的に活動している点で意識の高いクラブといえるでしょう。ただ、広い観点で効果的な奉仕を行うためには、会員数の増強、分区内で唯一女性会員がいないことなどが、課題といえます。純増はなしですが、7月第一例会で1名入会予定です。

年間活動報告書

第5分区ガバナー補佐 松野 正一（沼田）

本年度は2年目のガバナー補佐ですのでより効果的にクラブが運営されるようにサポートしてガバナーの考え方や姿勢を広める事に専念し各クラブの課題を皆で考えようと思いました。年間、各クラブに3～4回訪問しました。今年も最重要課題は会員増強とポリオ撲滅です。第1回目の訪問は7～8月に実施。内容は、RI会長K.R. “ラビ” ラビンドラン氏のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を簡単に分かり易く説明することです。会長は、歴史上の人物リンカーン・マザーテレサ・ガンジーを尊敬しています。前者達は人生を他人の為に捧げてきました。人生そのものがプレゼントになったのです。私達も人生で大切なことに目を向けて自分自身が世界への贈り物になるように行動する事が意義ある生き方だと説いています。

次に生方ガバナーのテーマ「奉仕・真実・喜び」について話をしました。奉仕とは喜んで頂くこと。奉仕とは喜びを与えること。喜んで頂く人は、家族、社員、お客様、ロータリアン、世界の人々です。真実とは嘘、偽りが無いこと。従って奉仕プラス四つのテストの実践が地区のテーマです。そして、今期で最後の地区3ヶ年戦略計画の協力をお願いしました。

2回目のクラブ訪問は10月末～12月初旬。各クラブ会長の方針やクラブテーマについて話し合い、私のクラブに対しての意見も述べました。その後、ガバナー公式訪問時の対応、要望そして協議会の進行について話し合いました。

3回目の訪問は、ガバナー公式訪問の11月中～1月初旬でした。ガバナーの柔らかい口調からの鋭い質問が飛びます。自分自身の考え等々を細部まで説明されたのは素晴らしいと思いました。

2016年3月13日にIMを開催しました。テーマは昨年の続きで『ENJOY ROTARY II』にしました。内容は各クラブからヤング～シニアの方2～3人出て頂き、ロータリーについての思いを語って頂きました。短い卓話時間でしたが興味深く有意義なお話しが聞けました。

次に、私の各クラブに対しての印象を書きます。

渋川 RC は、第5分区長男の風格と品格があり、出席率も良く、地元に対しての奉仕活動も活発に行っている。残念ながら国際奉仕、ダルニー奨学金制度以外の奉仕が必要。沼田 RC は平均年齢が56.6歳と若い出席率が悪い。国際奉仕は地区内でもトップに近い。出前卓話以外の地域奉仕を考える時期。草津 RC は、分区中一番小さいクラブだが親密感と優しさが滲んでいます。今後は例会の卓話を充実させニコニコボックス等を積極的に取り入れる必要がある。中之条 RC は、会員に温和な方が多く、社会奉仕が活発で小さいながらもキラリと光るものがあります。しかし、高齢化が進んでいるので新会員が必要です。近くの四万温泉の方々の入会は？沼田中央 RC は、ガバナー輩出クラブですので活気と高潔性に富んだクラブになりました。クラブ独自の奨学金制度は素晴らしい。地域に多くの奉仕活動をしているわりには国際奉仕が少ない。

渋川みどり RC は、クラブ全体が融和的に纏まっている。地域奉仕は活発だが国際奉仕を考えるべき。姉妹クラブも模索しては？会員が50名以上になると大化けする予感あり。

最後に数値目標について述べます。5月末時点で2840地区の会員数は2018名で第5分区は265名で17名の増加（女性会員は11名14名）。目標の270名に今一步。ロータリー財団及び米山奨学の寄付目標も各クラブ達成の予定。

生方ガバナーの中核的価値観をはじめとするクラブのサポートと強化・人道的奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度の向上のお話しは、第5分区ロータリアンに深く浸透したと思います。

一年間お疲れ様、ご苦労様でした。そして、ありがとうございました。

年間活動報告書

第6分区ガバナー補佐 堀口 正孝（安中）

生方 彰ガバナーの掲げた（奉仕・真実・喜び）であります、奉仕とは喜んでいただくことであると思います。真実とは嘘や偽装のないこと、と四つのテストの実践であります。奉仕 + 四つのテストの実践＝喜びで帰ってまいります。このスローガンを受けて第6分区8クラブは活動を行いました。

【会長・幹事会の開催】

15.06.19 安中 並木苑にて開催

8クラブの会長・幹事初顔合わせを兼ねてガバナー補佐としての各クラブに対する予定など伝達及び地区目標の要望を致しましたまた清パストガバナー、松倉パストガバナー、豊川ガバナーエレクト、岩崎ガバナー補佐をお迎えいたしアドバイスお頂きました。又次年度の豊川ガバナーエレクトへ第6分区による協力をお願いを致しました。

15.09.03 高崎 暢神荘

生方ガバナー公式訪問について、地区大会、IMについて、分区親睦ゴルフ大会について。各クラブ現況報告。豊川エレクトよりお願い地区研修協議会、地区大会、地区大会コンセプトなどについての話を地区幹事より頂きました。

【クラブ訪問】

（第1回クラブ訪問及び現在会員数）

15.07.08～25

各クラブの実情を把握するために訪問とガバナーの経歴、補佐の自己紹介。当分区は西毛地区に位置し藤岡市、富岡市、安中市、高崎市新町と玉村町と広い地域にわたる8クラブであります。人口減少の著しい地区にあります。

クラブ別会員数 15.07.01 現在 (246名)

富岡	46名	藤岡	44名	安中	34名	藤岡北	18名
富岡中央	39名	碓氷安中	15名	藤岡南	21名	富岡かぶら	29名

（第2回クラブ訪問）

15.09.29～10.15

生方彰ガバナー公式訪問事前についての説明。会員増強、維持に関するアンケートのお願いの説明。RI会長賞への挑戦、とマイロータリーへの会員の登録のお願い。

（第3回クラブ訪問とガバナー公式訪問）

15.10.13～11.11

生方ガバナー公式訪問の各クラブでのお出迎えとガバナーと各クラブとの話し合いに同席致しました。

（第4回クラブ訪問）

16.01.19～02.18

公式訪問のお礼・IM、親睦ゴルフ大会など分区事業への協力参加のお願い・マイロータリーへの会員全員登録のお願い・地区事業へも会員の参加のお願い・

年間活動報告書

第6分区ガバナー補佐 堀口 正孝 (安中)

【第6分区事業】

(インターシティーミーティング)

16.02.27

生方彰ガバナー、田中久夫ガバナーノミニ、清パストガバナー、松倉パストガバナー小野地区幹事の皆様をお迎え
いたし、8クラブより3名(我がロータリー。素晴らしきロータリー 自由テーマ)にて発表していただきましてガバナー
より講評を頂きました、又懇親会前に新島学園聖歌隊によるハンドベル演奏を一時の間耳を傾けていただきました。

安中市並木苑にて約130名位参加いただき大変にぎわいました。

(親睦ゴルフ大会)

16.05.05

親睦ゴルフ大会を富岡かぶらクラブ主催により大変天気も良くゴルフ日和のもと富岡 21 センチュリークラブにおい
て開催各クラブより80名以上のメンバーに参加いただき団体優勝も富岡かぶらで大変盛り上がりました。表彰式には
生方ガバナー、豊川ガバナーエレクトにも参加いただき大変盛り上がりました。

【周年行事】

16.04.24

藤岡北ロータリークラブ創立40周年記念式典参加 新町メモリアルホール

【合同例会】

15.09.02

第1回富岡3クラブ合同例会参加

16.02.18

第1回安中2クラブ合同例会参加

16.03.24

第2回富岡3クラブ 合同例会参加

【16年6月23日現在会員数】 現在会員数 254名 8名増員です

富岡	46名	藤岡	52名	安中	44名	藤岡北	18名
富岡中央	39名	碓氷安中	11名	藤岡南	17名	富岡かぶら	28名

以上1年間の報告をいたしました。

地区研修委員会

委員長（地区研修リーダー）	本田 博己	（前 橋）
副委員長	竹内 正幸	（太 田）
委 員	豊川 一男	（藤岡南）
委 員	田中 久夫	（高 崎）
委 員	板垣 忍	（前 橋）
委 員	春山 和夫	（太 田）
委 員	保坂 充勇	（沼 田）
地区担当副幹事	水石 清治	（沼 田）
地区担当副幹事	堤 康喜智	（沼田中央）

生方ガバナー年度の地区研修委員会は、ガバナーエレクトおよびガバナーの期間を通じて、生方ガバナーを補佐して、クラブや地区指導者の研修を企画・実施することに努めました。

- 1 生方ガバナーエレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。
a)PETS b) 地区研修・協議会 c) 地区チーム研修セミナー c) ガバナー補佐・ガバナースタッフの研修
- 2 ガバナーと協力し、以下の研修ニーズに対応しました。
a) 地区指導者育成セミナー b) RLI 研修セミナー（ディスカッション・リーダー研修会、パート1～パート3、卒後コース） c) 地区新会員セミナー

また、クラブ活性化につながる「クラブレベルの指導力開発」も地区研修委員会の重要な使命です。各クラブに配置された「クラブ研修リーダー」を支援し、クラブ研修のテキスト『ロータリーの基本』の提供や研修講師の派遣も行いましたが、クラブレベルのロータリー研修を更に奨励・推進することが今後の課題です。

RLI 推進委員会（新設）

委員長（地区研修リーダー）	本田 博己	（前 橋）
副委員長	伊能 富雄	（伊勢崎）
委 員	小磯 正康	（前橋中央）
委 員	松島 宏明	（桐 生）
委 員	田部井敏弘	（太 田）
委 員	川島 理	（渋川みどり）
委 員	山田 利和	（富岡かぶら）
地区担当副幹事	水石 清治	（沼田）
地区担当副幹事	堤 康喜智	（沼田中央）

地区研修委員会から独立して新設された RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）推進委員会は、RLI セミナーの事務局として、セミナーの企画・運営、ディスカッションリーダーの養成、2840 地区版カリキュラムの作成、を行いました。RLI セミナーは、本年度で 5 期目。ディスカッション・リーダー研修会、パート1、パート2、パート3のセミナー、豊川年度の PETS での卒後コースを終了しました。

危機管理委員会

委員長	森田 均	(渋 川)
委員	松倉 紘洋	(富 岡)
委員	板垣 忍	(前 橋)
委員	竹澤 泰子	(国際交流協会理事)
担当副幹事	野村 治	(沼田中央)

1. 危機管理委員会は、その一般的な提言や研修はさておき、委員会として多くの活動は休止していることが望ましい委員会である。
これまで当委員会は、発足以来、セクシャルハラスメント事案に関して会議を一度持ったほか、幸いその余の活動の必要性を認めたことはなかった。
しかし2011年3月11日に発生した東日本大震災に関連し、同月15日には、急遽、当委員会を開催し、交換留学生の早期帰国の問題を検討した。
その結果、これを推進することを決議し、速やかに対応したことがある。
2. 竹内年度に引き続き、生方年度においても、当委員会として、開催の必要性を認めたことはなかった。
3. 当委員会としては、所謂72時間ルール（危機管理委員会所管事項が生じた場合、72時間以内に国際ロータリーに事案を報告しなければならないルール）をふまえ、今後とも有事の折には、早急かつ適切な対応がとれるよう心掛けたい。

規定審議会立法案検討委員会

委員長 曾我 隆一 (前橋)
副委員長 横山 公一 (沼田)
委員 各ガバナー補佐
担当副幹事 生方 眞司 (沼田中央)

生方年度の2016年4月はロータリーの組織規定を3年に一度改定する規定審議会開催の時期でした。当地区では竹内年度(2014年)の10月26日開催の地区決議会にて、次の5つの立法案を決議し、RIへオンライン提出しました。

- ロータリーの目的に項目を追加しないとする注を付記する件。
- クラブの創立会員数を最低20名と明記する件。
- 規定審議会の審議過程を議事録に記録し公開する件。
- ロータリー財団管理委員の任期を改正する件。
- 職業奉仕部門の定義を改正する件。

以上が地区から提出できるMaxの5つの立法案でしたが、実際に立法案として審議に上程されたのは、1と4を除く2.3.5の3つでした。1についてはことの重要性を考慮した結果、前橋クラブより2015年10月開催のRI理事会宛へ「請願書」を提出し、実質的にRIは当地区から出した上記1の関連で、16-14を取り下げることに関わり付いたことは、特筆に値します。3は残念ながら否決されたが、機会を見て再挑戦したいところです。2と5は採択され、組織規定として2016年7月1日より適用となりました。従前から「私たちがロータリーの規則を改訂できる」を実証したわけです。

今回、「クラブ運営の柔軟性・会員身分の取扱い」等々、極めて革新的な挑戦がなされた規定審議会結果でしたので、既に5月22日開催の地区研修・協議会並びに月信や各クラブ宛てのメール等で詳細を伝えてきたところです。

大切なことは、クラブの自主性が高まったので、権利と義務がクラブの皆様の双肩にかかってきたことです。どのようにクラブを運営するか、どのような人を新会員としてリクルートするか等々、各クラブの自己責任の色彩が相当強くなりました。

地区としては、クラブの細則改訂作業や標準ロータリークラブ定款等に関する相談室を当委員会内に設置し、豊川年度でクラブ支援をしていきますので、遠慮なく、地区ガバナー事務所へご連絡下さい。

地区戦略計画委員会

委員長 疋田 博之（桐 生）

【地区戦略計画】

国際ロータリーは、原則的に1年ごとに計画を立て実行するという事でしたが、時代の変化により数年単位の計画を立て目的を実行していく事も1つの選択肢となりました。当2840地区と致しましても、3年前の本田年度より地区戦略計画委員会が立ち上げられ、初めての3年計画が始まり、着実に成果が挙げられてきましたので、改めてまとめて報告させていただきます。

• 会員増強

本田年度の年初	1875	年度末	1916	純増クラブ	24	女性会員	84
竹内年度の年初	1916	年度末	2016	純増クラブ	24	女性会員	107
生方年度の年初	2016	年度末	2058	純増クラブ	25	女性会員	122

• 未来の夢計画

本田年度の地区補助金申請クラブ	33クラブ	32申請	グローバル補助金申請	1申請
竹内年度の地区補助金申請クラブ	41クラブ	41申請	グローバル補助金申請	3申請
生方年度の地区補助金申請クラブ	43クラブ	41申請（うち1件取り下げ）	グローバル補助金申請	3申請

3) 寄付実績

本田年度の年次寄付額	\$307,444.49	ポリオプラス	\$19,311.92	米山1人平均寄付額	¥17,714
竹内年度の年次寄付額	\$328,575.36	ポリオプラス	\$25,539.19	米山1人平均寄付額	¥18,708
生方年度の年次寄付額	\$360,990.93	ポリオプラス	\$45,076.35	米山1人平均寄付額	¥18,653

4) ロータリー研修の実践

ロータリー研修はしっかり組織化され、各クラブでの事業への取り組みもロータリー財団を利用したりして実施されてきています。

5) 公共イメージ

公共イメージの向上に向けて、各クラブ、分区で色々なアイデアが出され実行されてきて、しばしば新聞やテレビなどでも報道されてきていますが、さらなる努力が期待される所です。

6) 青少年奉仕

青少年奉仕活動では、インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生、そして米山記念奨学生等と共に、植樹などいろいろな形で成果を上げてきました。

7) 奉仕の理念

東日本大震災での奉仕活動から多くの試練を頂き、この3月には九州熊本大地震で新たな課題がつけられ、救助に対して各クラブが対応したところ。これからの地震大国の日本としては、さらなるしっかりした対策が必要とされてきました。

最後に個人的な事になるかと思いますが、今の国際ロータリー活動の第一番目の最重要課題とされているポリオ撲滅ですが、最終段階に入って現在2ヶ国だけの発症、それも極僅かという事、今までの努力を無駄にすることなくより早期に実現する事を期待しています。新しい豊川年度では新たな方針で戦略計画を建てられたようなので、これからの活躍を期待しています。

ロータリーの友

ロータリーの友地区代表委員 松島 宏明 (桐 生)
委員 板垣 忍 (前 橋)
委員 春山 和夫 (太 田)

2015年5月18日東京都港区芝の“メルパルク東京”において、2015～16年度の地区代表委員オリエンテーションが実施され、7月以降に向けての活動がスタートしました。オリエンテーションでは、一般社団法人ロータリーの友事務所の事業計画、更には友の委員・法人事務局の会議日程に続き、ロータリーの友委員会の方針、更にロータリーの友の編集企画の後、地区代表委員としての立場や活動についての説明を受けました。

・ ロータリーの友地区代表委員として

- 1 任期1年
- 2 任務は、一つにはガバナーとの連携、地区における任務としては広く機会を求め、地区内会員への友誌およびその他の出版物の広報並びに活動促進に努めること、更には地区内活動の情報収集等です。
- 3 レポートの作成と「ロータリーの友」並びに「ロータリージャパン」の記事に関する取材協力があります。

・ ロータリーの友地区代表委員会議

2015年5月18日 地区代表委員オリエンテーション (メルパルク東京)
2015年7月 1日 地区代表委員合同会議 (グランドプリンスホテル高輪)
2015年8月18日 地区代表委員ゾーン会議 (メルパルク東京)
2016年3月14日 地区代表委員合同会議 (メルパルク東京)

・ ロータリーの友についての卓話

2016年4月 5日 卓話 沼田 RC
2016年4月13日 卓話 桐生南 RC

・ ロータリーの友事務所からの情報とその他の事項

- 1 「ロータリーの友」誌はRIの承認を受けた地域雑誌となっており、会員には購読の義務があります。当地区において注文部数が会員数に満たないクラブが複数あります。(ガバナーにも同様の資料が渡っています)
- 2 豊川年度の地区協議会で、分科会において公共イメージとともにロータリーの友を説明する機会をいただきました。その場で、広報誌「ROTARY 世界と日本」及び会員勧誘用「ROTARY あなたも新しい風に」に関する説明をしました。

ロータリー財団委員会

委員長 伊能 富雄 (伊勢崎)
アドバイザー 牛久保哲男 (伊勢崎)

2015-2016 年度 ロータリー財団委員会は、委員会組織を 6 委員会 (資金推進・年次寄付委員会、補助金委員会、地区補助金委員会、グローバル補助金委員会、資金管理委員会、ポリオ・プラス委員会)42名の構成で進めてまいりました。

2015-2016 年度 ロータリー財団の優先項目

「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージ認知度の向上」という 3 つの項目を柱としたロータリー戦略計画を支えるため 2015 年 7 月 1 日に始まる 3 カ年間のロータリー財団、「優先項目」が提案されました。

- 優先項目：1. 永久にポリオ撲滅する。
優先項目：2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
優先項目：3. 財団の補助金と 6 つの重点分野を通じてロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
優先項目：4. ポリオ・プラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた 100 年の歴史に特に注目し財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

ロータリー財団の活動は「寄付を集める活動」と「寄付を使う活動」があり地区に於いて DDF (地区活動資金) の資金源は当地区の 3 年前の寄付額によって決まります。

● 年次寄付について

会員数 2015 名に対して、330,949.82 ドルとなっております。(一人当たり地区目標 150 ドル以上に対し 164.24 ドルの状況)*ロータリークラブセントラルに目標設定をされたクラブは、46 クラブ中 40 クラブ、年次寄付 0 クラブはなくなりました。(2016.7.5 現在)

● 地区補助金について

2014-2015 年 (竹内年度) 申請分、46 クラブ中 41 クラブの実施。2015-2016 年 (生方年度) では、46 クラブ中 43 クラブ 41 プロジェクトの申請、承認いたしました。次年度 (豊川年度) に実施されます。この申請、承認にあたり地区補助金審査会は、(第 1 回~最終審査会まで継続して) 開催してまいりました。

● グローバル補助金について

3 クラブからの申請及び、地区からの申請で 4 プロジェクトの申請がありました。申請に対してのグローバル補助金審査会 (申請毎、随時開催) を開催、地区承認をいたしました。プロジェクトは以下のとおりです。

GG1417170	桐生西 (タイ・チェンマイ) 水と衛生	DDF	10,000 ^{ドル}
GG1636872	富岡中央 (フィリピン) 水と衛生	DDF	13,612.5 ^{ドル}
GG1639968	2840 地区 (2530 地区) 経済と地域社会の発展	DDF	10,000 ^{ドル}
GG1641114	伊勢崎 (GG 奨学金) イギリス派遣	DDF	15,000 ^{ドル}

● ポリオ・プラスについて

2015 年 10 月 18 日 (日) 地区大会においてポリオ撲滅キャンペーンと募金活動のブース展開を実施。生方ガバナー年度では、DDF より、ポリオ・プラス基金に 40,000 ドルを寄贈する。

● ロータリー財団セミナー等の開催

1. 2015 年 8 月 22 日 (土) 「地区ロータリー財団セミナー」開催、215 名参加
2. 2015 年 11 月 14 日 (土) 「ロータリー財団補助金管理セミナー」開催 185 名参加
*2015 - 2016 年度に於いて ロータリー財団ハンドブック『ダイジェスト版』の発行、各クラブに配付いたしました。

以上のように『未来の夢計画』は、3 年目となった事業年度として順調に推移してまいりました。詳細については、ロータリー財団、各委員会報告にてご確認お願いいたします。また、各クラブ会員の皆様に対し、今後ともロータリー財団に対する活動に、優先項目でもありますロータリアンの知識、参加、寄付の向上に積極的な取り組みを進めていかれることをお願いいたします。

資金推進、年次寄付、 恒久基金・大口寄付委員会

委員長	北野 浩司郎（沼田中央）
委員	各ガバナー補佐
担当副幹事	生方 眞司（沼田中央）
担当副幹事	宮田 美行（沼田中央）

ロータリー財団の夢計画が発足して3年目、一区切りの年を迎えました。

出口の地区補助金に関する理解も進み46クラブ中43クラブがこれを活用し、それぞれの地域で奉仕活動を行い、地元の人達に大変喜ばれた事と思います。

一方、入口である資金推進委員会としても本年度も又いくつかの目標を設定させて頂きました。

まず、年次基金は、昨年度同様一人当たり150ドルをお願いしたいと申し上げて参りました。その目標額に達したクラブが27クラブ、少し足りなかったクラブが19クラブありました。しかし、平均すると179.15ドルとなり、立派な成果を上げる事ができました。

大口寄付者については、2840地区で3名以上と目標を立てました所、本年度は何と!!11名の方々にご協力を頂き、素晴らしい一年となりました。

惟、恒久基金（ベネファクター）に関しましては、各クラブ1名以上と目標を立てましたが、本年度も5クラブで5名しかご協力を頂けませんでした。恒久基金に関しては今後ロータリアンの皆様にもっとご理解を頂けるよう努力しなければと思います。

私も本年度限りで委員長を卒業いたしますが、3年間お世話になりました。皆様の御協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

補助金委員会

(補助金委員会・グローバル補助金委員会)

委員長	森田 高史 (伊勢崎)
担当副幹事	野村 治 (沼田中央)
担当副幹事	水石 清治 (沼田)
担当副幹事	堤 康喜智 (沼田中央)
担当副幹事	永井 寛之 (沼田中央)

I. 地区補助金

ロータリー財団の補助金の新制度となり4年目となった本年度、地区補助金につきましては、地区内46クラブ中43クラブ、41申請書(総事業費1,695万円)が提出され、無事に審査を完了することができました。また、当年度実施された41地区補助金活用事業につきましても、報告書(総事業費1,664万円)が提出され、承認を得ることができました。

地区補助金につきましては、ここ4年間、年間利用可能額(約800万円)のほぼ全額を活用することができ、分区輩出の地区補助金委員の皆様のご理解とご協力のもと、完全に地区内に敷衍浸透したものと安堵しております。

ただ、本年度につきましては、年度末終了の6月時点で報告書が数件提出されていないなど、次年度に向けましては、事業の実施時期の吟味や、報告書の提出期限について、課題を残したものと考えております。

ご協力ご苦勞いただきました、地区補助金委員の皆様へ心から感謝申し上げる次第であります。

II. グローバル補助金

前年度、竹内年度の3件31,000ドルの申請に対し、生方年度も3件38,612ドルの申請書が提出されました。

当初、グローバル補助金の財団本部への申請手続きの煩雑さから、申請書の提出が懸念されていましたが、年間利用可能額(80,463ドル)には及びませんが、約半額の申請をいただき、グローバル補助金活用事業(総事業費262,863ドル)が実践されることとなりました。

特に、一昨年度から提唱させて頂いておりました、震災被害にあった福島県におけるグローバル補助金事業について、2530地区郡山北クラブから申請書が提出され、199,138ドルという、グローバル補助金の限度額に迫る大きな事業が実施されることとなりました。

また、新制度になって以降、当地区の方針として停止しておりましたグローバル補助金利用財団奨学生の派遣につきましても、本年度から実施することとし、第1号の奨学生を派遣することとなりました。

ご協力頂きましたグローバル補助金委員の皆様へ心から感謝申し上げる次第であります。

以上をもちまして、補助金委員会の報告とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。

地区補助金委員会

委員長	下井田秀一	(桐生西)
副委員長	山田 利和	(富岡かぶら)
委員	佐藤 信一	(前橋東)
委員	村田 勝俊	(桐 生)
委員	原 邦昭	(群馬境)
委員	室賀 康志	(高崎北)
委員	田部井敏弘	(太 田)
委員	毛塚 宏	(館 林)
委員	石塚 泉	(館林東)
委員	今井 幸吉	(沼 田)
委員	市村 信也	(藤岡南)
担当副幹事	野村 治(沼田中央) 水石 清治(沼田) 堤康喜智(沼田中央) 永井寛之(沼田中央)	

1、地区補助金（本年度計画・次年度実施）

申請件数 41 件（申請クラブ数 43 クラブ） 申請総額 8,381,892 円 補助金決定総額 8,431,327 円※

※「地区補助金予算を余さず使い切る」という方針で各申請書に対して、各クラブの2013～14年度1人当たり年次寄付実績を考慮に入れながら一定の計算式で算出しました。

別紙 2016～17年度地区補助金申請一覧をご参照下さい。

4年目となる本年度は、過去3年の実績をさらに上まわって、各クラブに一層利用してもらえるよう活動して参りたいと思います。

2、委員会（審査会）活動経過

開催日	内 容	場 所	備 考
2015年 8月22日	ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス	報告の実務・計画立案の注意点について説明
9月19日	地区補助金委員会	生方ガバナー事務所	地区補助金申請書及び報告書審査の勉強会
11月14日	補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス	申請書記入の注意点について説明
2016年 1月16日	第1回地区補助金予備審査会	伊勢崎プリオパレス	
3月26日	第2回地区補助金予備審査会	伊勢崎プリオパレス	
4月23日	地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス	2015～16年度実施分の申請を承認
5月15日	地区補助金審査会（追加）	伊勢崎プリオパレス	申請書追加審査、地区独自制約事項見直し検討
6月18日	地区補助金審査会（追加）	伊勢崎プリオパレス	申請書追加審査、地区独自制約事項見直し検討

グローバル補助金委員会

委員長	大島 秀夫 (前橋北)
副委員長	津久井 功 (沼田)
委員	小磯 正康 (前橋中央)
委員	久保田寿栄 (桐生)
委員	新井 茂雄 (伊勢崎南)
委員	金子 秀隆 (高崎シンフォニー)
委員	落合 重男 (太田)
委員	宮内 敦夫 (館林)
委員	清水 一男 (渋川)
委員	黒澤 欣一 (藤岡)

今年度は桐生西ロータリークラブ (1,000ドル)・富岡中央ロータリークラブ (13,612.5ドル)・2530地区福島県郡山 (10,000ドル) の審査をし、3件の承認を行いました。

地区としてはグローバル補助金活用事業を実施すべくグローバル補助金活用プロジェクトチームを立ち上げ、特に東日本震災復興地区に限定して事業化の模索をしていく企画を立てて2530地区とのプロジェクトを模索し、最終的に活動名「福島大学農学・放射能汚染対策専門スタッフと住民組織との農地除染後の土作り対策」事業の審査を承認しました。

しかしながら、現実には補助金プログラム3件、33,612.5ドルの申請のみにとどまっております。年度後半に伊勢崎ロータリークラブよりグローバル補助金 (15,000ドル) を使用する奨学生プログラムの申請があり当地区初めての制度でしたが、経験と時間のない中、何とか審査の承認ができました。

合計件数は4件、合計金額は48,612.5ドルです。従って現状においては、クラブからの申請を要請しているだけでは毎年70,000ドル程度ある予算を有効活用することはまだまだ困難だと思います。

今年度は、職業研修チーム委員会と奨学金・学友・ロータリー平和フェロシップ委員会の二委員会を併合し担当しましたが、あまり範囲が広すぎて十分な活動が出来ませんでした。

資金管理委員会

委員長	藤丸 兼一	(伊勢崎)
副委員長	渋澤 誠	(太田)
委員	廣瀬 雅美	(高崎)
委員(署名人)	北野浩司郎	(沼田中央)
委員(署名人)	町田 久	(渋川)
担当副幹事	渡邊 常二	(沼田中央)
担当副幹事	植村 仁	(沼田中央)
担当副幹事	藤井 昭宏	(沼田中央)
担当副幹事	平井 克明	(沼田中央)

現在(2016.6.20)43 クラブ申請 41 プロジェクトの 2015-2016(生方年度)実施分の内、34 クラブより報告書を提出頂き、6月18日(第5回目)の審査において新たに7件の審査を実施致しました。

その結果、条件付き(報告書再提出)内定6件、残念ながら取り下げ1件、地区への一部返金1件という結果となりました。

一回の審査で、受理または、ほぼ確認済みとなったプロジェクトは25件程度あり昨年と比較すると大幅に増加しております。これは各クラブのご担当者が趣旨を良くご理解頂き、且、各分区の地区補助金委員のご協力による賜物と感謝しております。

特に、報告書においては、請求書、領収書の整理が一段と丁寧に行われるようになりました。専用口座の使用についても支払前に一旦プロジェクトの総額を入金しスタートするなど適切な使用となっており、多くの改善が見られました。

今年の特徴としては、プロジェクト実施が年度末(4月~6月)になるクラブが例年より多く6月20日現在においても未クローズのクラブが6件ございました。ご存知の通り前年の事業が全てクローズされませんと財団に対して一括申請ができません。(2016~2017年度実施の申請は、全て内定が出ております)

結果として財団→地区→各クラブへの入金が遅くなることとなります。今後セミナー等を通じて、内容の理解は当然ながら実施日等の周知を徹底してまいりたいと思います。

今年は、4回目の申請という事もあり総じて、各クラブの担当者のご理解が一層進んだ一年であったと思います。

各分区担当地区補助金委員、議事録等を作成して下さった地区副幹事、ガバナー事務局の皆様には感謝いたします。

有難うございました。

ポリオプラス委員会

委員長	川口 修平 (高崎南)
副委員長	内山 均 (前橋東)
委員	三輪 斉 (前橋)
委員	崎山 譲治 (高崎)
委員	土屋 孝夫 (館林西)
担当副幹事	永井 寛之 (沼田中央)
担当副幹事	植村 仁 (沼田中央)
担当副幹事	平井 克明 (沼田中央)

当初の委員会方針に沿って活動を進めて来ました。

本年度も多くのメンバーからポリオプラスへの寄付をして頂き感謝申し上げます。別表の通りです。

地区目標としておりました一人\$20の達成率は112%でした。

本年年度に設定された戦略計画で3年間、ポリオプラス寄付目標を毎年一人\$20にしました。最終年度となる生方年度に目標を達成する事が出来ました。これは2840地区全てのロータリアンのご理解があつての事と感謝申し上げます。

以上活動報告です。

2014年1月13日インドがポリオ常在国でなくなりました。Polio Plus Program 30周年の2015年、大きな進展がありました。WHOは9月25日、最後のポリオ発生から14か月経過したナイジェリアを野生型ポリオウィルスの常在国リストから正式に除外し、残るはアフガニスタンとパキスタンの2か国になりました。世界ポリオ撲滅推進計画はポリオ撲滅を2018年までに達成しようとしています。達成できることを心から祈っています。

生方 彰ガバナー、伊能富雄財団委員長ご指導、ご協力有り難うございました。内山 均副委員長大変お世話になりました。

一年間のポリオプラス委員会を締め括るにあたり係わった全ての人に感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

平成28年6月30日

会員組織強化委員会

委員長	安藤震太郎	(高崎北)
副委員長	竹内 正幸	(太 田)
委員	平田 育夫	(前橋西)
委員	船山 克人	(桐生南)
委員	下田 進	(伊勢崎南)
委員	佐藤 修	(高崎南)
委員	山田 邦夫	(太田南)
委員	関口 亮二	(館林シニア)
委員	松野 正一	(沼 田)
委員	堀口 正孝	(安 中)

当年度の会員増強目標はガバナー方針に則り以下のように設定いたしました。

- (1) 地区全体で2, 100名の会員数の獲得を目指す。
- (2) 地区内全クラブで純増を達成する。

(1) この目標でスタート致しました。直近のデーターでは6月1日の確定数字のみですがこの時点から推定いたしますと、期初2016名より始まりましたが、6月1日では2, 108名と92名の増加となっております。例年6月末に会員の退会が増加いたしますがこれから考えて2, 100名の目標達成は微妙ではありますが、4%近い会員増は達成の見込みであります。この数字は全国34地区中でもトップクラスの数字であると考えられますがこれも当地区のロータリアン各位のクラブ活性化にかける熱意の表れであると感謝申し上げます。

また女性会員の増加については同様の数字から推定しますに期初111名のスタートから6月1日125名となりました。会員増はますますですが女性会員ゼロクラブが期初11クラブから現在6クラブに減少致しました。これもますますの結果であると御礼申し上げます。

(2) 全クラブの純増については46クラブ中32クラブが達成し6月1日時点で14クラブが未達成です。残りの1カ月でもう少し良い結果となることを望みますがそれでも例年より増加が分散して1~2名ずつの増加の結果であると考えます。

(3) 今までの事から考える特徴は12月3月の退会が例年に比較し少なかったことが良かったと考えられますが、これには会員組織強化委員を務めておられるガバナー補佐の皆様が2015年8月29日(土)と2016年1月30日(土)に各クラブより提出された会員増強目標を参考に委員会を開催し各クラブに会員増強と退会防止を働きかけて頂いた結果であると考えます。

(4) その他色々ありますが何といたってもガバナーの会員増加にける熱意とそれに答えてくれた各クラブの対応に感謝申し上げます。

女性ネットワーク委員会

委員長 井上芙美子（前橋中央）
アドバイザー 疋田 博之（桐 生） 副委員長 福島江美子（太 田）
委員 望月 和子（前 橋） 和佐田幸子（前橋西） 市川 孝江（桐生赤城）
関口 啓子（高崎南） 田原 明美（伊勢崎南） 北澤恵美子（太田中央）
松本恵理子（大 泉） 須田 羊子（沼 田） 佐藤三千子（富 岡）
担当副幹事 平井 克明（沼田中央）

女性ネットワーク委員会が発足したのは 2014～2015 年度竹内ガバナ一年度で 2840 地区の女性未加入クラブをなくすという方針がありました。

2015 年 7 月 1 日現在引き継いだ時は 46 クラブ中 11 クラブが未加入で又、女性会員数は 106 名でした。

2015～2016 年度女性未加入クラブを如何にしたら加入してもらえるかいろいろ生ガバナを始めとしまして委員会で協議し女性フォーラムを開催することになり、目的は現在の会員から率直な意見を聞き女性未加入クラブを如何に加入させたら良いか検討する場所として行うという事でした。

2015 年 11 月 7 日 場所：前橋商工会議所において開催いたしました。

検討内容の主なものとして

女性会員がロータリークラブに入会してどう思っているか

新入会員に対するクラブの取り組み

クラブに対して満足しているか

その他いくつかありましたがこれらのことに対しての意見交換を行いました。

活発な意見が沢山出ましてなかなか普段意見をいう事の出来ない会員達でしたのでこういう場所をつくり意見交換を行うことの大切さを痛感致しました。

2016 年 5 月末日の女性会員未加入クラブと女性会員数の結果ですが、以下の通りです。

第 3 分区 2 クラブ

第 4 分区 A 1 クラブ

第 4 分区 B 1 クラブ

第 6 分区 2 クラブ

以上未加入クラブ 6 クラブとなり、2016 年 5 月 31 日現在女性会員数は 125 名となりました。年初より 19 名増加し前年対比 18 パーセントの増となったのです。女性フォーラムの成果があったかと思えます。又、女性ネットワーク委員会の委員の皆様が一丸となって協力した賜物と委員の皆様へ感謝いたします。

公共イメージ(オンツー・ソウル)委員会

委員長 永井 勇 (渋川)
アドバイザー 福田 一良 (前橋西)
副委員長 酒井 次男 (高崎セントラル)
委員 新井 照秋 (前橋東) 岡崎 政夫 (前橋北) 岩崎 宏行 (前橋南)
小野 真康 (桐生中央) 矢嶋 真 (高崎) 高橋 永一 (高崎東)
中村 研司 (館林) 田邊 寛治 (渋川みどり)
担当副幹事 藤井 昭宏 (沼田中央)

委員会では継続的に「ロータリーの友」活用を促進して頂ける様 PR させて頂きました・昨年は地区全体で 50 部ほど増加しました、各クラブさんにて有効に活用されている事と思います。

各クラブの事業活動を、クラブ広報委員会にて地元メディアに積極的に働きかけ、紹介して頂ける様お願いしました、年度初めから地区大会直前までの広報事例を報告して頂き、地区大会には 22 クラブ 32 件の新聞記事をパネルにて紹介しました、最終的に今年度一杯のメディアに取り上げられた記事を集計して報告します (豊川年度 8 月以降になってしまいます)。

ロータリー創立記念日にカラー・一面にてロータリーの事業を上毛新聞にて紹介させて頂きました。

生方ガバナーのご助力のお蔭ですが、ロータリークラブの広報として一般の方に認識して頂ける機会に、特にポリオ撲滅に賭けるロータリークラブの意気込みを表現し・公共イメージの向上に有効であったと信じます。

オンツーソウルにつきましては、2840 地区は登録 100 人を超え、一部の会員に飛行機事故のアクシデントも有りましたが、現地で地区ナイトを開催し、80 人のロータリアンが和気あいあい、楽しく過ごすことが出来ました、ご協力有難うございました。

ソウル国際大会は独特の雰囲気、特に身近に RI 会長から直接お考えをお聞きすることができ、有意義でした。

次年度への提案とお願い

2840 地区各分区毎に同じ形式で (パターン) 新会長・幹事さんの就任を是非記事として投稿して頂きたい。

昨年度各ガバナー補佐さんに何度もお願いしたつもりでしたが、結果的に 4 つの分区だけが記事として紹介され、又その形式もバラバラでした、是非徹底して全分区毎全クラブを、同じように紹介記事掲載して頂ける様考えて下さい、委員会とガバナー補佐各位のご尽力をお願い申し上げます。

職業奉仕・地域社会奉仕・国際奉仕委員会

委員長	保坂 充勇（沼田）	副委員長	菊川 善明（前橋）
委員	近藤日出夫（前橋東）	委員	田島 正広（群馬境）
委員	松本 利宏（伊勢崎中央）	委員	岡本 謙一（高崎）
委員	阿部 豊子（館林東）	委員	佐藤 和夫（渋川）
担当副幹事	植村 仁（沼田中央）		

本年度当委員会は、下記の如く、各クラブへのアンケート実施や、委員会・セミナーを開催致しました。2回のアンケートにご協力いただきました各クラブの会長、幹事さん、ご協力大変有難うございました。お陰様で、貴重な資料が出来上がったと思っております。

また、当委員会委員やスタッフの下記委員会等への出席率は、延べ 93.75%と非常に高いものでした。その参加意識の高さに驚きました。有難うございました。

当初は遠慮してあまり意見を述べなかった委員も、回数を重ねるごとに活発な発言をしていただき、有難かったです。特に、セミナー開催にあたっては、各々の役割分担を積極的にこなしていただき、本田研修リーダーご協力のもと、約 150 名の参加者には、概ねご満足いただける内容になったものと自負しております。

最後に、いつも無理な私のお願いに笑顔で対応してくれた事務局のお2人さん、誠に有難うございました。

記

- ・ 第1回アンケート実施 平成 26 年 12 月 各クラブの「当委員会に対する要望等」
- ・ 第1回委員会開催 平成 27 年 3 月 5 日 前橋問屋センター会館2階
- ・ 第2回委員会開催 平成 27 年 4 月 14 日 前橋問屋センター会館内ガバナー事務所にて
- ・ 第2回アンケート実施 平成 27 年 4 月 「各クラブの過去3年間でいった職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の具体的な事業について」
- ・ 上記アンケートの結果を地区ホームページに掲載（竹内年度の右下、職業・地域社会・国際奉仕の各事業概要）
平成 27 年 5 月 17 日
- ・ 第3回委員会開催 平成 27 年 5 月 19 日 前橋問屋センター会館内ガバナー事務所にて
- ・ 第4回委員会開催 平成 27 年 7 月 21 日 前橋問屋センター会館内ガバナー事務所にて
- ・ 職業・地域社会・国際奉仕セミナー開催 平成 27 年 9 月 12 日 前橋問屋センター内
- ・ 第5回委員会開催 平成 27 年 10 月 17 日 前橋問屋センター会館内ガバナー事務所にて

職業奉仕とは…の感想

生方ガバナーは、「奉仕とは喜び」だと仰っていました。初めて聞いたときは「…？」と思いましたが、2回、3回と聞いているうちに、ようやく理解することができました。

私事ですが、近年、仕事に疲れていました。自分の為だけに仕事をしていると、エネルギーのある 30 代～ 40 代までと違い、60 代になると仕事に対して前向きになれませんでした。でもある時、生方ガバナーの言葉を思い出し、ハッと気付かされました。そうだ、仕事(職業)とは、「自分の職業を通じて相手に喜びを感じてもらおうこと」だと。そう思うと、仕事をする時の気分が軽くなりました。職業奉仕の意味を、ロータリー入会 15 年目にして、ようやく1つ理解した思いです。

生方ガバナー、お世話様になりました。

管理運営・IT委員会

委員長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・豊川 一男（藤岡南）
担当副幹事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・渡邊 常二（沼田中央）

管理運営委員会

管理運営委員会の目的は地区と地区内ロータリークラブ間の連携を強化し、効果的なクラブ運営に資する支援を行うこと。

年間活動方針

- (1) 2015.7. 1 実施「特別月間」の資料提供・推進の支援
地区ホームページ・ガバナー月信に掲載していただきました。
- (2) CLP 導入の推進と支援
「元気なクラブ」作りの卓話を実施しました。
- (3) 「卓話・出前研修サービス」の運営
別紙のとおり実施しました。
- (4) RLI 研修の支援
地区研修委員会の主管した「ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI)」セミナーの支援をしました。RLI セミナー Part1～3、卒後コースは、各クラブ会長エレクト・次期幹事に参加していただき、年度に向かってクラブ指導者としての、意欲を高める機会となりました。

IT委員会

RI・地区・クラブの情報を共有することで、IT の効果的な活用を推進しクラブにおける IT 環境整備の支援を行います。

- (1) RI ウェブサイト「マイロータリー」「ロータリークラブセントラル」登録の推進と活用の支援
2016-2017 年度 RI 会長ジョン F・ジャーム会長の会長賞は、先ずはクラブ会員の 1/2 以上の会員が「マイロータリー」登録をする、次に「ロータリークラブセントラル」に登録をして、各項目の進捗状況・結果を入力することが条件です。
今後、RI の事務手続きは、スピード化・簡素化を図るため、すべての手続きを IT にシフトする方針は、次年度に向かう、ガバナー補佐会議、地区チーム研修セミナー、PETS/SETS、地区研修・協議会の機会に説明をしました。
- (2) 各クラブのソーシャルメディア活用の推進と支援
- (3) オフィスメール・メーリングリストの活用研究
- (4) IT 活用で会議の合理化及びペーパーレスの導入

2. 3. 4. については地区・地区内ロータリークラブで、IT の活用が様々であり又、温度差もあるので、今後の課題といたします。

以上

学友委員会

委員長 …………… 中繁 基（館林西）
担当副幹事 …………… 野村 治（沼田中央）

本年度（2015～2016）、突然 RI の学友の定義が拡がり、ロータリーの学友には、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、国際親善奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、RYLA、ロータリー平和フェロー、米山奨学生（日本のみ）を含む、すべてのロータリープログラム参加者が含まれるようになり 2015～2016 年度 7 月より、地区学友委員会が設置されました。

2 月下旬、急に委員長の任命を受け、何から手をつけ、どう活動したら良いのか迷いましたが、先ず各学友の名簿を作成する事にしました。ガバナー事務所のスタッフに大変なご苦勞をおかけし、資料を調べて頂きそれを整理して、各クラブに調査を依頼しましたが、一部の学友名簿が出来ましたが、大半の名簿を作成することが出来ませんでした。私自身、今年取り組み方を反省し、次年度は各クラブの活動に役立てて頂ける様な名簿を作成できる様、引続き活動を推進して行きたいと思いをします。

記

2015 年

3 月 14 日～ 15 日 会長・幹事セミナー 伊香保福一
学友委員会活動方針発表

5 月 17 日 地区研修・協議会 利根沼田文化会館
学友委員会活動方針発表、学友名簿作成協力依頼

8 月 28 日 ガバナー事務所スタッフと打合せ 生方ガバナー事務所
各クラブへ名簿作成調査依頼

9 月 26 日 ガバナー補佐、委員長合同会議 前橋問屋センター会館
ガバナー補佐に各クラブの調査協力を依頼

12 月 24 日 ガバナー事務所スタッフと打合せ 生方ガバナー事務所
各クラブの調査結果があまり上がってこない

☆ 引続き次年度（2016～2017）にて名簿作成を推進する事とした。

青少年交換委員会

委員長	横山 正男 (高崎シンフォニー)
副委員長	関根 俊夫 (安 中)
副委員長	新井 聡 (前橋西)
委員	原 精一 (館林ミレニアム)
委員	原 敬 (伊勢崎)
委員	嶋方 智之 (高 崎)
委員	小田原 茂 (沼田中央)
委員	小林 京子 (富 岡)
委員	天田 光俊 (群馬境)
委員	阿久澤嘉一 (高 崎)
委員	吉野 矩久 (高崎東)
委員	須永 聡介 (桐生赤城)
委員	前原 信之 (太田中央)
担当副幹事	宮田 美行 (沼田中央)
担当副幹事	平井 克明 (沼田中央)

生方年度の青少年交換事業は、長期交換（一年間）5名の実施と短期交換（夏期）1名での実施となりました。短期交換は7月にワンウェイでオレゴンに派遣致しました。今年の6月末にはオレゴンよりワンウェイで受入し、豊川年度に引き継ぐ事になりました。

長期交換の5名については、ネブラスカ、ニューヨーク、ミネソタ、テキサス、オレゴンとの相互交換となり、ホストクラブは、館林RC、桐生赤城RC、伊勢崎RC、高崎北RC、安中RCにてそれぞれ引き受けて頂きました。年度スタート早々に派遣学生の壮行会に始まり、8月末には受入学生が来日しての歓迎会兼オリエンテーションを実施致しました。この時には、竹内年度の派遣学生3名の帰朝報告会を同時開催しました。

受入学生の来日後は、各ホストクラブに対応して頂きましたが、地区としても9月に秋の移動オリエンテーション、10月の地区大会参加、翌週には栃木地区との泊まりによる合同オリエンテーションに参加し、12月にはクリスマスパーティを実施致しました。この間、11月初旬には豊川年度に派遣する学生の選考試験を行い、5名の候補生を選考致しました。選考学生については早速11月よりオリエンテーションを実施し、このオリエンテーションは合計8回実施することとなりました。また、次年度受け入れていただくホストクラブ様向けに4月と6月にクラブオリエンテーションを実施致しました。

下期における受入学生の地区行事としては、太田中央RC、桐生RC主催の行事に相乗り参加をさせて頂いた後、6月3日～5日にかけて鎌倉、横浜、東京方面へのバストリップを実施致しました。

この様に年間を通し、切れることなく事業は実施され、選考試験から帰朝報告会までには、3ガバナー年度にまたがった事業になることが本委員会の特徴と言えます。これらの事業を推進するための準備や相手地区との詳細に渡る交渉および調整が必要であり、トラブルが起これば待った無しの対応が要求されます。

今年度の5名の相互交換学生が途中で欠けることなく終了出来ましたことに、何よりも安堵いたしております。生方ガバナーはじめ、地区役員の皆様、委員会の皆様、ローテックスの皆さん、そして、ホストクラブ関係者の皆様のご指導とご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。事業報告とさせていただきます。

インターアクト委員会

委員長	田島 龍一 (安中)
委員	桑原 志郎 (桐生)
委員	稲田 信昌 (新田)
担当副幹事	堤 康喜智 (沼田中央)

◎インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議

日時 2015年7月4日(土) 11:30～16:00

場所 新島学園中学校・高等学校

参加者 インターアクター 15校 33名、顧問教師 15校 21名、地区役員 6名、
ロータリアン15クラブ 23名、安中RC支援者 14名、新島学園支援者 24名、計 121名

内容 (1) 開会行事、(2) 各校インターアクトクラブ状況報告、(3) グループ討論会

◎インターアクト年次大会

日時 2015年7月25日(土) 8:30～15:20

場所 新島学園中学校・高等学校

参加者 インターアクター 16校 116名、顧問教師 15校 25名、来賓・講師 14名、
ロータリアン32名、安中RC支援者 15名、新島学園支援者 16名、ローターアクト1名 合計 219名

大会テーマ 「世界を友とする心を養う」

内容 (1) 開会行事・ガバナー式辞、来賓祝辞、(2) 基調講演「輝きから煌めきへ」
ハローアルソンフィリピン医療を支える会・現地統括責任者 今西祐介氏(歯科医師)
(3) 分科会(4分科会) ①「新島裏と国際性」②「醤油というモノづくり・コトづくり」
③「パイプオルガンの世界」④「台湾研修から学んだこと」

◎インターアクト国際交流事業

台湾研修

日時 2016年3月31日(木)～4月3日(日) 3泊4日

訪問先 台湾新北市立三重高級中等学校

参加者 群馬 21名(生徒 20名、ロータリアン 1名)、新潟 15名(生徒 12名、ロータリアン 3名) 合計 36名

目的 国際交流事業を通して、若者に異文化に対する受容性を養う

内容 インターアクターの一泊ホームステイを含んだ交流

◎台湾学生受入事業

日時 2016年4月15日(金)～16日(土) 1泊2日

参加者 台湾清傳高校生徒 14名 三重高校生徒 36名 学校関係者 7名 計 57名

台湾三重中央ロータリアン 8名 合計 65名

内容 新島学園中学校・高等学校において「歓迎セレモニー」を実施後、生徒はホームステイ先へ
翌日に「さよならパーティー」を磯部ガーデンにて開催。上記台湾参加者に加え、国内参加者は、新潟より
9名(インターアクター 4名、地区役員 5名) 群馬より 91名(インターアクター 25名、ホームステイ保
護者 28名、ホームステイ受入ロータリアン家族 13名、顧問 6名、地区役員 4名 ロータリアン 15名)

参加者総計 165名。

ローターアクト委員会

委員長 関 徹也 (伊勢崎)
委員 飯島千明 (沼 田)
委員 湯浅年則 (富 岡)

今年度は地区ターゲットを「アクトファミリー」としてロータリーファミリーとの交流を意識した地区活動を目標に行ってきました。

1年間の地区主催の活動内容については以下のとおりです。

①アジア第一ゾーン代表者会議 (15.10.3 ホテルメトロポリタン高崎)

今年度は初めて当地区がホストとして高崎で開催しました。第一ゾーンの代表の方々が集まり積極的にローターアクトについて語り合い、親睦を深めることができました。

②RYLA研修 (15.10.24-25 赤城少年自然の家)

ロータリーファミリーの仲間と赤城山でカッターを漕いだり、登山をしたり体を動かし汗を流し充実した研修に参加してきました。

③地区年次大会 (16.1.17 利根沼田文化会館)

話題の真田の里、沼田での開催で沼田RCのメンバーの方が鎧姿でお客様をお出迎えして頂き沼田RC、RACのファミリーとしての結束力を構築できました。また、2840地区各RACが活動状況について嗜好を凝らし楽しく発表し相互理解を深めました。

④全国RA研修会、2016APRRC (16.3.19-21 京都)

今年度はAPRRC(アジアRA研修会)との共催でアジア各国からのローターアクターのみんなが集結し、とても盛り上がった大会となりました。

⑤アクト新会員歓迎交流会 (16.3.26 太田)

太田RACが幹事となり新会員の歓迎交流会を太田で開催しました。当日は太田の町のゴミ拾いをしながらゲーム感覚で観光スポットを探索し、その後OBの柴崎氏による卓話をを行いローターアクトについてみんなで勉強しました。

⑥2560地区合同交流行事 (16.5.14 水上)

2560地区新潟との交流事業を、今年は当地区がホストとなり水上で開催しました。ラフティングをしたりとアクティブに活動し交流を深めました。

⑦地区指導者研修会 (16.6.12 県庁)

次年度の会長幹事が集合し次年度の方針を確認しました。研修では4つのグループに分かれてテーマ事業企画シミュレーション「みんなで楽しめる事業を考えよう」で活発に発言しテーマをまとめて発表しました。

以上活動報告になります。

次年度に向かっては各クラブ会員増強が最大のテーマになると思います。

ローターアクトの意義を仲間に伝え、仲間を増やし、仲間と活動し、活気に満ちあふれた素晴らしい2840地区RAに成長し続けることを応援いたします。

米山記念奨学委員会

委員長 田中 久夫（高崎）
アドバイザー 高木貞一郎（館林）
委員 小林 要一（前橋） 大友 一之（桐生） 神宮 嘉一（高崎）
板橋 一博（太田） 長坂 正信（太田西） 瀬山 欣春（館林）
高橋 昭紀（沼田中央） 齋藤 勝也（富岡かぶら）
担当副幹事 水石 清治（沼田）

米山記念奨学委員会の活動は、ロータリー年度とは異なり 4 月から始まり 3 月で終了する日本固有の学事歴です。

最初の行事は、2015 年 4 月に行われたカウンセラーセミナーです。このセミナーは、米山奨学生を 1 年間または 2 年間預かっていただく世話クラブのカウンセラーと新規奨学生及びその大学のゼミ担当教員を集め、その顔合わせと今後の対応についての説明会です。お互い初対面のため、緊張のなかセミナーは進められていきますが、カウンセラーの方々の日頃のロータリー精神の発揮により終盤には打ち解けた雰囲気になっていきます。

8 月には、指定校説明会が開催されました。これは、2840 地区内において当委員会が選考した指定校の大学関係者を集め、米山奨学事業の説明を行ないます。我々がどのような奨学生を求めているのかを理解していただき、予め各大学に定員枠を与え、その範囲内において優秀な留学生の推薦をお願いします。

9 月には、米山記念奨学セミナーが開かれました。2840 地区内の全クラブの会長、幹事、米山担当者等を集め、奨学事業の詳細を説明し、寄付金のお願いと次年度の世話クラブへの立候補をお願いしました。年が開けて 2016 年 1 月末には、いよいよ 4 月からの新規米山奨学生を選考する大事な選考会（面接）が行われました。面接担当者には、前年 12 月のうちに面接を担当する留学生の資料、小論文が渡され、約 1 か月かけて事前の検討を行ないます。面接当日は面接担当者による採点基準等の確認を行い、全部で 3 グループに分かれ、各グループの面接者 4 名が 10 名前後の学生の面接を行ないました。留学生達も緊張していますが、こちらも大変気を使う長い 1 日です。

2 月には、3 月末に奨学生期間の終了する奨学生達の終了式が行なわれました。カウンセラーと奨学生が感極まって泣き出し、別れを惜む感動的なシーンに遭遇します。終了証と記念品の授与が行われ、奨学期間のフィナーレを迎えます。

この行事以外にも、奨学生の OB・OG により組織された学友会が主催する学友会総会（6 月）、忘年会（12 月）がありました。

また、米山委員相互においても自費により 2 回の懇親会を実施して親睦を図りました。この委員会を卒業した後も共通の体験から生まれた友情を継続し、また地区大会等にて再び会うことを楽しみにしたいと思える有意義な 1 年でした。

最後に 1 年間お付き合いいただいた PG 高木貞一郎（館林）米山記念奨学会理事、直前 G 竹内正幸（太田）同評議員、小林要一（前橋）、大友一之（桐生）、神宮嘉一（高崎）、板橋一博（太田）、高橋昭紀（沼田中央）、長坂正信（太田西）、瀬山欣春（館林）、齋藤勝也（富岡かぶら）の地区米山記念奨学委員の皆様、水石清治（沼田）担当地区副幹事、入山こず江、佐藤由紀恵ガバナー事務局員の各位には大変感謝申し上げます。

ガバナースタッフ 2015-2016 年度 国際ロータリー第 2840 地区



地区ガバナー

生 方 彰 (沼田中央)

TEL : 0278-22-5555 FAX : 0278-24-1620



地区幹事

小 野 幸 広 (沼田中央)

TEL : 0278-22-3453 FAX : 0278-22-7611



地区会計長

赤 井 幸 夫 (沼田中央)

TEL : 0278-25-4188 FAX : 0278-25-4189



地区副幹事

野 村 治 (沼田中央)

TEL : 0278-24-3751 FAX : 0278-24-3751



地区副幹事

水 石 清 治 (沼田)

TEL : 0278-22-2211 FAX : 0278-23-1670



地区副幹事

生 方 眞 司 (沼田中央)

TEL : 0278-23-5365 FAX : 0278-23-5365



地区副幹事

堤 康 喜 智 (沼田中央)

TEL : 0278-24-6564 FAX : 0278-24-6564



地区副幹事

宮 田 美 行 (沼田中央)

TEL : 0278-24-3025 FAX : 0278-24-3043



地区副幹事

永 井 寛 之 (沼田中央)

TEL : 0278-23-9118 FAX : 0278-23-9437



地区副幹事

渡 邊 常 二 (沼田中央)

TEL : 050-5875-7463 watanabe@dwi.jp



地区副幹事

植 村 仁 (沼田中央)

TEL : 0278-24-1543 FAX : 0278-22-6643



地区副幹事

藤 井 昭 宏 (沼田中央)

TEL : 0278-22-5355 FAX : 0278-24-2356



地区副幹事

平 井 克 明 (沼田中央)

TEL : 0278-22-5505 FAX : 0278-22-1114



ガバナー事務所 事務局員

入 山 こ ず 江

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841



ガバナー事務所 事務局員

佐 藤 由 紀 恵

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

生方年度の一年を振り返って

地区幹事 小野 幸広

2840地区すべてのロータリアンの皆様に感謝致します

2013年11月に生方ガバナーより地区幹事の就任依頼を受け、地区のことは何もわからないまま引き受けました。生方ガバナーと共に副幹事・会計長の就任依頼を行い、第1回スタッフ会議を12月18日に開催、その後毎月スタッフ会議を開催し、各委員長への依頼・組織・主要行事・予算など、とにかく決めなくてはならない事が次から次へと出て来て、プレッシャーに押しつぶされそうでした。内容も良くわからないまま、目の前に追われる毎日が続きました。

そして迎えた2014年11月1～2日の第1回ガバナー補佐会議、12月14日のガバナー補佐・委員長予定者合同会議、事前に次第・内容等打ち合わせをしてありましたが何か忘れていないか、資料はマイクはと心配事は出てきます。しかし副幹事・事務員の皆様がすべて仕切って頂き滞りなく終了致しました。

その後の地区セミナー・会議等も、副幹事・事務員の皆様が次第・資料・会場などすべて手配をして頂き私は「宜しくお願いします」と言えば良い状態でした。優秀で素晴らしいスタッフに囲まれて心強い限りでした。

この2年6カ月を振り返ってみれば、何も知らない私をパストガバナー・ガバナー補佐・各委員長・委員の皆様が叱咤激励して下さい、生方ガバナー・会計長・副幹事・事務員の皆様がフォローして頂き「皆様のお陰で幹事職を務めて来られたのだなあ」とつくづく感じています。スタッフ会議も29回を消化し残り数回になり少し寂しい気もしますが、最後まで宜しくお願い致します。

末筆になりましたが、地区研修・協議会ホスト沼田RCの皆様完璧でした。地区大会記念ゴルフ大会ホスト渋川みどりRCの皆様完璧でした。地区大会ホスト沼田中央RCの皆様お疲れ様でした。生方ガバナー大変お世話になりました、至らない点が数多くありご心労をお掛け致しました。赤井会計長・野村、水石、生方、堤、宮田、永井、渡邊、植村、藤井、平井の各副幹事・入山、佐藤両ガバナー事務所事務員・林 沼田事務所事務員の生方スタッフの皆様大変お世話になりました。感謝・感謝です。

2840地区すべてのロータリアンの皆様大変お世話になりました。皆様のご指導ご協力で大過なく終了する事ができました。心から御礼申し上げます。

生方年度終了、バンザイ・バンザイ・バンザイ・バンザイ・バンザイ！！

地区会計長 赤井 幸夫

生方ガバナー事務所・スタッフ「一年間の感想」

仕事柄会計に関する依頼をされることが多い、能天気な自分は早速引き受ける。色々な人に援助を受けて予算作成が終わる。まずその時最初の安堵感があった。

先日の諮問会議で4月までの会計報告をどうにか乗り越えたこれもまた色々な人に助けられた。

二度目の安堵感を味わうことが出来た。

後は、次年度会計長にバトンを丁寧に渡すことが出来れば試練は終わるその時最高の安堵感を味わうことが出来たらいいと思う。

生方年度の一年を振り返って

副幹事 野村 治

クワァー！ やっとこさ終わった！！と云うのが本音。

一昨年11月1日ガバナー補佐会議を皮切りに、奉仕・真実・喜びをテーマに、本年6月まで約1年半、数々の行事やイベントをこなした。ロータリー活動の経験も浅く地区になじみのなかった私は、色々な場面、様々な人物に戸惑った。その分、知らなかった知識を沢山身に付けられたり、自分のスキルの無さを悔んだり、大いに良い経験をさせていただいた。

特に地区大会を担当させて頂き、ロータリーの歴史や伝統、組織の難しさ、ホストクラブと実行委員会の関係など今までに無い勉強をさせていただいた。少々神経がすり減った所は有ったけれども、これからのロータリー活動にかなり役に立つ事間違いなし。又、目くそ・鼻くそ的な実行委員会と思っていたが終わってみたら皆大人だったのにはおどろいた、流石はクラブの仲間なのだ。大会に関わっていただいた皆様方誠にありがとうございました。

一年半を通して、2840地区リーダー生方ボスゴリラのシルバーバックがひましに輝きを増す中、とにかくスタッフ全員が良くまとまっていた。幹事の虚飾の無い実力とその人となりは実に多くのピンチを救ってくれたと思う。もし幹事が他の人だったりスタッフの積極的な協力がなかったらと思うと、今考えても気が遠くなる。

何はともあれ、無事に終わった事を心より喜んでいきます！

生方ガバナー、小野幹事はじめ、副幹事の皆さん本当にお疲れ様でした。そして事務局の林さんに感謝！

サ——テ！ 明日から大好きなビールを沢山飲むゾ～～！！

副幹事 水石 清治

私はロータリアンらしくない、ロータリアンでした。入会して26年。20年目にして、会長の役を拝命した時、ロータリーについて何も勉強してこなかった自分に愕然としました。ある先輩のお陰で面目が保てた事は、ロータリーモーメントに書いた事で御承知の通り、そんな自分が生方ガバナーの副幹事に名乗りを上げたのは、自分なりに培ったロータリー知識が少しでも役に立てばと思い、クラブは違いましたが、副幹事にしてもらいました。

たまたま地区には委員として5年位、出向いていましたので、地区の各委員会の担当は、それほど苦にはなりませんでしたが、それと前々から他クラブへのメイクは、ちょくちょくしており、ある時は、全クラブをメイクしようと挑戦しましたが、3分の1位で断念しました。今回、生方ガバナー公式訪問では、ガバナー講話の為にプロジェクターの設置、車の運転等を受け持ち、全クラブを訪問できて長年の夢でした。2840地区全クラブメイクアップが、実現できました。

実際に廻ってみると、それぞれのクラブの長所、短所が良く解り、大変勉強になりました。又、各委員会の担当副幹事をさせて頂き、資料や議事録の作成等、日頃苦手とする作業を行う事で、会議の内容が良く理解でき、当の委員会のメンバーよりも勉強できたのではないかと思います。そして何よりも、沼田クラブから一人、仲間に入れてもらった、沼田中央クラブの副幹事の皆様、大変お世話になり有難く思います。

今後も木曜日の例会には年度が変わっても、お邪魔しますが、どうか宜しくお願いします。

生方年度の一年を振り返って

副幹事 生方 真司

この一年、色々お世話になりました。たくさんのロータリアンと知り合うことができました。そして多くを学ばせていただきました。

「我以外皆我師」です。おかげさまで一回り大きくなりました。

生方ガバナーはクラブ訪問で、各委員の方々に我が身を置いて相手の苦境に心を寄せる、優しい人柄、思いやりの心を、私は学びました。微力ではありましたが、心より感謝しています。ありがとうございました。

追伸 小野幹事、お疲れ様でした。

副幹事 堤 康喜智

副幹事（裏方）の仕事を終えて

まだ、任期は残り1か月以上もありますが、気持ちは清々しく静養期間に入っている今日この頃です。副幹事として忙しく行動していたことが遠い昔の出来事のような気がしています。地区の下働きをさせていただいたおかげで、多くの人に出会えました。クラブの中だけにいてはこの経験はできませんでした。有難うございました。

達成感があります。それと同時にどんな美味しい料理でも食べすぎると胃もたれをする様に、正直、ロータリーに食傷感みでもあります。静養し、胃もたれが解消したら、「この経験を生かしてロータリー活動ができたらいいな」という模範解答で最後は締めくくことにします。

副幹事 宮田 美行

最初に副幹事に指名されたときには「めんどくさい事になったな」と正直思いました。しかしながら生方ガバナー誕生に少なからず関わった者の責任として、むしろ「積極的にお手伝いをしなければ」と思い直し、チーム生方のためにこの身を捧げようと思いました。

担当は青少年交換委員会。派遣学生、受入学生のための準備会議、オリエンテーション、歓迎会、壮行会、レクリエーション等で会合の多さはナンバーワンの委員会です。でも、留学の夢と希望に燃える若者達をサポートするおじさんたちは元気でやさしく献身的でまさに奉仕の理想を体現している人達でした。

担当副幹事として至らない部分も多々あったと思いますがロータリーの友情に免じてお許しを賜れば幸いです。この一年、セミナーの資料作りやアンケートの集計、審査会や会議の受付など、表舞台に立つロータリアンの為のバックステージに身を置いてきました。奉仕の心あふれるさまざまな方たちが裏方としてロータリークラブを支えているということであらためて認識させられた一年でした。

ご尽力いただいた地区役員の皆様、副幹事の仲間たち、おちゃめでノリのいい事務局の入山さん、佐藤さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。もうすぐフィナーレを迎えます。生方ガバナー年度が万雷の拍手をいただいて緞帳を下ろせるようにもうひと踏ん張りしたいと思います。でもアンコールはご勘弁を。

生方年度の一年を振り返って

副幹事 永井 寛之

副幹事として 1 年が終ろうとしています、地区の会議に初めて出たのが竹内エレクト年度の PETS, SETS だったと思います、来年は私たちが設営しなくては行けないので視察を兼ねての参加、今考えるとずいぶん前から会議を重ね、時間を費やしてきたのだなといまさらながら考え深いものがあります。

生方ガバナー、小野幹事に比べればたいしたことではありませんが、私も地区委員として 1 年だけ出向させて頂きましたがその時は一委員会の一部を自分なりに理解することが出来ましたが、今回は担当委員会の会議、各種セミナーの裏方として参加させて頂き、まず地区が何をしているのかが少しですが解りました。

特に生方ガバナーにはロータリーについて学ばせて頂きましたし、パストガバナーのロータリー談やロータリーへの思いも聞くこともできました、組織の難しさ楽しさも学ばせて頂いたように思います。その中でやはりロータリークラブは思いとやる気なのかなと強く感じました、勉強をさせて頂いた一年でした。

生方ガバナー、小野幹事、赤井会計長そして副幹事の皆様に感謝申し上げます。

2016 ~ 2017 年豊川ガバナー年度が市村幹事を中心に副幹事でまとまり出港から帰港までの航海の無事を願って私の 1 年のまとめとさせて頂きます。

ありがとうございました。

副幹事 渡辺 常二

異常なまでに充実した数年間、楽しい時間を過ごさせて頂きました。そして、多くの事を学ばせていただくことが出来ました。このような機会を与えてくれた生方ガバナー、小野幹事をはじめ地区スタッフの方々。そして国際ロータリー第 2840 地区すべてのロータリアンに心より感謝申し上げます。

この楽しい数年間で地区ガバナー・地区幹事・地区役員という立場の人を近くに見ることが出来ました。地区という存在を身近に感じるとともに、地区運営に関わる人々の努力や苦勞が、並大抵ではないことに驚きました。

特にここ 1 年。何もかもが新しい経験であり、目の前のことに追われて、こなすだけの時間がほとんどでした。今にして思えば「もっと頑張れたんじゃないか」と、「もっと楽しめたんじゃないか」と反省してます。

約 3 年間、様々な経験を得ても、私のロータリーに対する考え方に、ほとんど変化はありませんでした。しかしロータリー活動に積極的なロータリアンに対する「尊敬」や「憧れ」みたいな感覚はジンワリ感じるようになりました。

とにかく実に貴重な時間を得ることが出来ました。折角のロータリーです。普通はなかなか経験できないことばかりです。地区未経験者の方には、是非一度体験してみることをオススメします。何も保障はできませんけど。

副幹事 植村 仁

生方ガバナースタッフの一員に任命され、『チーム生方』の副幹事として各種公式行事や委員会活動に携わり、2840 地区のシステムを学ばせて頂き、ロータリアンとして大変貴重な経験となりました。担当として右往左往し続けながらも最後はクラブ会員が総力を結集して開催した地区大会。保坂委員長のリーダーシップの基、実施した三大奉仕セミナー。月信の取材で他クラブに訪問した事など。今までにない数多くの活動が詰まった副幹事生活を送らせて頂きました。このような機会を与えて下さった生方ガバナー、小野幹事、共に活動しましたスタッフの皆様々に感謝申し上げます。

また、各種会議、セミナーの準備や設営面での完璧な段取り、何より「小道具」の重要性を教えて下さった入山さん、佐藤さん、大変勉強になりました。

次年度はクラブ幹事として、地区での経験を生かして活動して行きたいと思います。生方年度関係者の皆様、大変お世話になりました。有り難うございました。

生方年度の一年を振り返って

副幹事 藤井 昭宏 出会い 勉強 感謝

私が地区副幹事として初めての役目を任されたのは毎年3月に開催される PETS SETS の議事録でした。二つ返事で引き受けたものの 二日間という長い講習会 勿論ボイスに録音しましたが…帰って来て録音したのを聞くだけで二日間以上かかり、結局 まとめ終わるまでに一週間以上かかりました。この一年間どうなるのだろう？なんで引き受けたのだろう？と 後悔からのスタートだったのを覚えています。でも この1年幾度となく議事録を作成しているうちに 議事録は大変だけどその日の復習が出来て 頭に入っていくのが分かる気がします。良く生方ガバナーが「ロータリーは理解してくると楽しくなってきました」と言っていますが、本当にその通りだと この1年で分かりました。

あれから1年が過ぎ6月で終わろうとしています。今振り返って見ると いろいろな方と出会えた1年又ロータリーの中身を勉強出来た1年だったと思います。そして 私を副幹事に誘って下さった生方ガバナーや小野幹事、助け合いながらやって来た地区スタッフの皆さん、私たちの力になってくれたガバナー事務所の皆さんへ感謝 感謝の1年でした。この1年で得た事をばねに ロータリーの事を勉強して理解し残りのロータリーライフを楽しみたいと思います。

最後に生方ガバナー年度に携わったすべての皆様に心より感謝いたします。有難う御座いました。

副幹事 平井 克明

今年度、主には青少年交換委員会と女性ネットワーク委員会の担当として、副幹事をさせて頂きました。

青少年交換委員会は 3年間の学生達が入り交じっており、誰がいつの年度でいつ派遣？と混乱もしましたが、親切丁寧に横山委員長がご指導ご協力して頂いたお陰で無事に終了する事ができました。

女性ネットワーク委員会も会議を重ね、女性フォーラムを開催でき、熱い会議の後の懇親会は国際口笛コンクール優勝の柴田晶子さんの演奏は、正直、口笛であれ程感動できるとは思いませんでした。

いずれも私にとっては非常に良い経験であり、色々な方々との出会いに感謝感謝という気持ちです。このような貴重な経験をさせて頂く為に、こんな私を副幹事にご指名頂いた生方ガバナー、親切にご指導頂いた横山委員長と井上委員長、各委員長、委員の方々、そして色々とお助け頂いたガバナー事務所の皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。

本当に有り難うございました。お世話になりました。

事務局 佐藤 由紀恵

生方年度に関わるまでは沼田というと冬のスキー、夏の避暑地というイメージしかありませんでしたが、今は「真田丸」「沼田公園の桜」等たくさんのイメージが湧いてきます。何よりガバナー、小野地区幹事、赤井会計長を始め副幹事さん達の笑顔が浮かんできます。

たくさんの思い出がありますが、生方年度の「地区チーム研修セミナー」では前日に小野幹事からノーマルタイヤで大丈夫だよ！ときいていたのに沼田インターを降りたら道路をみんなで雪かきをしていた光景。やはり冬の沼田は侮れませんでした。地区行事の打ち合わせや準備をしていく中でコミュニケーションをとり、沼田の夜の街に（小道具を持参して）みんなで楽しく盛り上がったこと。とても楽しい思い出になりました。

1年間大変ありがとうございました。

生方年度の一年を振り返って

事務局 入山 こそ江

今年度もたくさんの方との出会いがあり、気づきがあり、悩み・苦しみがありました。そんな中で、私の中の今年一番の財産は、生方ガバナースタッフの皆さんと出会えた事です！

豪快に笑い、豪快にしゃべる、いつでも明るい生方ガバナーは、人には見えない所で努力をされていてロータリーの皆さんの前では、ロータリーに関わる話をされておられましたが、ガバナー事務所では「モノの様々な角度からのとらえ方」や「ある実際に起きた事件の本当の裏側の話」などロータリーとは関係ない話しもよくして下さいました。私は、そんな生方ガバナーの話しにはいつも吸い込まれ、仕事の疲れを忘れさせてもらいました。

また、出口の見えない仕事に取り掛かっていると小野幹事はその様子を見たり聞いたりして、すかさず助け舟を用意して下さいました。本当に頼りになる地区幹事さんで何度も助けて頂きました。仕事に追われている中、いつも右手をゆらゆら振りながら「ど〜も〜♪」と事務所に入って来る赤井会計長にはなんだかとても癒されました。

地区大会成功の立役者の野村さんには、昼の顔と夜の顔を見せて頂きその変わりようには毎回本当に驚かされましたが、可笑しくて普段のストレスが全て解消されました。46クラブ全ての公式訪問に同行され生き生きとされていた水石さんには、色々なクラブの情報を教えて頂き、各クラブさんの活動の様子も知ることが出来て事務局も勉強になりました。

お寿司職人の生方さんには、職人さんならではの裏レシピを教えて頂き2児の母としての勉強もさせて頂きました。学習塾経営の堤さんには、「どう神社にお参りすれば受験に受かるか？」本当にビックリな情報を教えて頂きつつ、ピンチの時の堤さん！！と色々な場面で事務局は助けて頂きました。いつもにこやかな宮田さんは、ご自身も色々とお忙しい中、ガバナー事務所の仕事終わりが遅いのをいつも気遣って下さいました。

酒造りの永井さんには、美味しい酒粕をたくさん頂き心も体も“ほっかぽか”になりましたが、何と言ってもお酒を飲んだ時の永井さんの話される“永井流フランス語”に事務局は“ほっこり”しました。行動時間お昼前後から午前4時の渡邊さんには、事務局の事務仕事を本当にたくさん手伝って頂き、今ではすっかりガバナー事務所の一人??という位。生方年度で事務処理の仕方を大きく変えて頂けて本当に助かりました。

セミナー会場づくりの仕上げを一人でしていると、いつの間にか私の作業に気が付いて下さってお手伝いをして下さった植村さん、その優しさに何度も私は心が救われました。事務局の想像を遙かに超えるような経験を積まれている藤井さんは、誰に対しても平等に優しく、事務局はその優しさに何度も救われました。夜の宴会芸では本当に楽しませて下さる平井さん、青少年交換や女性ネットワーク委員会と副幹事さんの中ではその若さと行動力を一番に使い動き回った一年間だったと思いますが、何時でも明るく副幹事さんの仕事に取り組まれていて事務局もパワーを頂きました。

生方ガバナースタッフの皆さんと一緒に仕事が出来て本当に楽しかったです！！

約2年間、有難うございました。

また、生方年度の地区運営に携わって下さったすべての皆様、本当に有難うございました。

豊川年度もガバナー事務所は2人で頑張りますのでよろしくお願い致します。



世界へのプレゼントになろう

JAPAN ● RID2840 / 2015-2016

生方ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841

email : ubukata@rid2840.jp